

PORT SAPIE

ぽるとぴえ

函館大学広報誌Vol.6 ●発行／函館大学広報誌編集事務局

1998.JAN
Vol.6



カトリック元町教会

●特集

今、函館大学に 求められるもの

●座談会／交換教員＋受入・派遣留学生

私たちの異文化体験

●就職特集

就職ガイダンスレポート

函館大学



函館大学校歌

親潮速き

作詩 土田秀雄
作曲 館野信平

一、親潮速き海峡を とろろと寄する荒波も
乗り越え行かんひたすらに 北極星を仰ぎつつ
真理の海に棹させば 黙示ひらけて人の世の
まことの平和あらわれん お、これぞこれ友垣を
一つに結ぶ望みなれ 讃えんかなや我等が母校

二、穂並みも霞む大平原 鷗群れ飛ぶ北の海
尽きせぬ富を拓きつつ 担う文化の豊けさよ
恵み頒ちてもろ人と 手に手をとらば人の世の
楽園ここに開けなん お、これぞこれ友垣を
一つに結ぶ望みなれ 讃えんかなや我等が母校

三、狭霧晴れゆく蝦夷松の 林のかなた郭公鳴く
思索の朝を踏みゆけば 心開くる思いあり
友とし学ぶ幸ありて 誠に結ぶ学園の
道をひとすじに進まん お、これぞこれ友垣を
一つに結ぶ望みなれ 讃えんかなや我等が母校

7月までの主な日程

| | |
|-------------|---|
| 1月16日 | 冬季休業終了 |
| 1月17日 | 後期授業再開 |
| 1月24日 | 交換留学生公募オリエンテーション |
| 1月31日 | 卒業論文提出締切 |
| 2月1日 | 第1期試験入試・社会人入試 |
| 2月3日 | 後期授業終了 |
| 2月4日～18日 | 後期末試験 |
| 2月25日～26日 | 企業との就職懇談会 大阪会場(25日)・東京会場(26日) |
| 3月10日～31日 | 春季休業 |
| 3月16日 | 第30回卒業式(10:00～) |
| 3月19日 | 第2期試験入試 |
| 4月1日 | 新年度オリエンテーション開始(2・3・4年次) |
| 4月2日 | 履修登録開始 |
| 4月10日 | 第34回入学式(10:00～) |
| 4月15日 | 交通安全指導(全学年) |
| 4月16日 | 前期授業開始 |
| 4月23日 | 業界研究会・企業との就職懇談会(道内・道外企業) |
| 6月1日～13日 | 教育実習(予定) |
| 7月1日 | 交換留学生への留学許可交付式 |
| 7月11日～8月31日 | 夏季休業 |
| 7月後半 | 協学会地区懇談会／函館・室蘭・札幌・旭川 帯広・青森・仙台・東京・大阪 (予定) |

函館大学
広報誌編集事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号
TEL(0138)57-1181 FAX(0138)59-4575



PORT SAPIE

C O N T E N T S

| | |
|---------------------------------|--|
| 特集:今、函館大学に求められるもの.....2 | |
| 今、函館大学に求められる教育 | |
| ●函館大学学長／河村博旨 | |
| 今、函館大学の学生諸君に求められるもの | |
| ●みちのく銀行取締役頭取／増田孝介 | |
| 今、社会が求める人間像・大学像 | |
| ●日本私立学校振興・共済事業団理事長／戸田修三 | |
| 座談会:交換教員+受入・派遣留学生.....5 | |
| 私たちの異文化体験 | |
| 入試概況:函館大学の入学試験.....8 | |
| 北から南から・出身校紹介.....9 | |
| 研究室から.....10 | |
| 著書紹介.....11 | |
| 教職員プロフィール.....12 | |
| 読書テーブル.....14 | |
| 就職特集.....15 | |
| 平成9年度・就職戦線の総括と今後の展望 | |
| 就職ガイダンスレポート | |
| ●講演 | |
| ●パネルディスカッション | |
| ●体験発表 | |
| 就職協定廃止元年・私たちはこう闘った | |
| ビジネスマナーとビジネスエチケット.....20 | |
| ズーム・イン・キャンパス／学生情報センター.....20 | |
| 委員会だより.....20 | |
| 公開講座だより.....21 | |
| 大学祭レポート.....21 | |
| 函館企業訪問.....22 | |
| 日立北海セミコンダクタ株式会社 | |
| 私の函館散歩.....22 | |
| 教養講座・金融マンをめざす学生諸君へ.....23 | |
| 健康講座・心がけたい、日ごろからのメンタルヘルス.....23 | |
| 学友会活動報告.....24 | |
| クラブ戦績.....24 | |
| ESSAY／東京サラリーマン体験記.....25 | |
| 函館食べ歩き／BEELONG'S.....25 | |
| クラブ紹介.....26 | |
| 野又学園プロフィール.....27 | |
| 函館短期大学付属幼稚園 | |
| 同窓生を訪ねて.....28 | |
| 協学会だより.....28 | |
| 投稿コーナー・百葉箱.....29 | |

PORT SAPIE 函館大学広報誌Vol.6

ぽるとさぴえ

「ぽるとさぴえ」は、ラテン語のポルトス（港や門を意味します）とサピエンティス（知恵や英知を意味します）を参考にしてつけられた題名です。皆様のご支援と叱咤激励により、親しみやすさのなかにも、大学らしい英知の香を漂わせる誌面づくりを心がけてまいります。

今、函館大学に求められる教育



●函館大学学長

河村博旨

「感謝と報恩」に基づく
確かな人生観の涵養を

青春期の人材育成を担う教育機関として、函館大学の大学として、函館大学に、どんな教育が求められているのか。私はこの問いに対する答えとして、三つのことを述べたいと思います。

一つは、人間形成の過程において、大学時代というのは人生観の基礎を築く重要な時期であり、それを養育する教育の必要性が、高まっています。人生はしばしば航海に例えられます。

地球規模の難問が山積し、情報が氾濫し、価値観が多様化している、現代のような不透明かつ予測困難な時代こそ、曇りのない精神と伶俐な頭脳によって航路をしっかりと見定め、着実に船を進めていかなければなりません。

強い風が吹く順境にあっても驕らず高ぶらず、嵐の逆境にあっても、絶望に打ちのめされることなく、短期的にも長期的にも正しい判断を下しながら、時代の風に自由自在に対応していかなければなりません。そのためには、いかなる外部条件の変化によっても揺り動かされない精神的支柱、すなわち確固たる人生観が必要です。

人生観は各自が学問や体験を通して自分なりに手づくりしていくものですが、本学で学ぶ学生諸君には、学園訓である「感謝と報恩」の精神を生徒にわたって、忘れないでいただきたいと思っています。

両親、祖父母、曾祖父母、高祖父母、先祖はもとより、国のために命をかけて苦戦苦闘した先人、日本の今日の繁栄を築いた先達、自分が学んでいる学問を切り拓いてきた先学等々。あらゆる先輩たちにあまねく感謝し、自分の持っている能力を最大限に発揮し、最善の努力を尽くして恩返しをする。それによって他の人々が幸せになることが、自分の幸せにもなるという人生観を持ち続けていただきたいのです。

人間は元来、社会というシステムのなかで共同作業に参加し、他から必要とされることで自己の役割を認識し、幸せを感じる生き物であり、「感謝と報恩」は、そうした他とのかかわりに不可欠な思想です。

彼岸不遜に他者を寄せ付けず、ひたすら私利私欲を追い求め、地位や富を手にしたとしても孤立無援の状態では、精神の平安は得られません。孤独感と猜疑心に苛まれ、その結果、人生の航路を誤って暗礁に乗り上げるという悲惨な結末も十分考えられます。

反対に、不運にして人生の非常事態に陥っても、自分を鍛えるための好機と感謝の心で捉え、謙虚に人の忠告に耳を傾け、努力を重ねる人であれば、周囲も協力を惜しまず、それによって悲嘆に明け暮れることもなく、最小限の口スで立ち直ることができるとでしょう。

「感謝と報恩」は、激動の時代を生き抜き、担っていくためにはならない若者の羅針盤になりうる哲学だと私は確信しています。この多大で貴重な価値について、教育現場の随所でさらに強調していきたいと考えています。

真に幸せな人生に向かう教育を

本学に求められている教育の二つ目は、言うまでもなく、商学学士にふさわしい知識や技術、外国語力、などマナーの習得ということですが、しかし、ここで気をつけなくてはならないのは、学生諸君が四年間で学べるのは、商学部卒のビジネスマン・ウーマンとしてスタートを切るのに必要な最低限の知識に過ぎないということです。感謝と報恩を実践し、社会に貢献していくためには、たゆまぬ自己鍛錬、自己開発が必要です。ですから、本学に求められている教育の三つ目として、生活すべてが修養と訓練の場であるという意欲と態度の涵養が挙げられます。

人間には、大きな問題——例えば今の日本の長期不況や金融不安などのような——は重視し

て、すぐ議論のテーブルに乗せる一方、目立たない問題は軽視して、なかなか着手しないという悲しむべき習性があります。しかし、冷静に考えるに、そう簡単に解決できないから大きな問題なのであって、そればかりに気をとられて、小さな問題を軽んじるのは愚かな行為です。

職場においても、大きなプロジェクトと目立たない小さな仕事が混在しています。新入社員で業務の流れも飲み込めていないのに、「こんな雑用をするために、この会社に入ったんじゃない」と不平不満をこぼし、イヤイヤ仕上った仕事はミスだらけというのは、今に「こんな雑用」すら任せてもらえなくなります。

その場の状況をよく観察して、自己の果たすべき役割をすばやく察知し、サッと行動する。今やるべきこと、明日やるべきことを、きちんとやり遂げる。その地道な繰り返しによって、実力がつき、周囲から信頼され、責任ある仕事を任せられる存在に成長していくのです。

仕事以外のこと、例えば先輩社員の結婚披露宴の受付や駐車場の整理を頼まれた場合も、喜んで引き受ける。あいさつ、身だしなみ、話し方はもちろん、寝食だって、おろそかにはできません。健康体で元氣良く笑顔で仕事をすれば、周囲に喜ばれ、それがまた自分の幸せにつながっていくのです。

勤勉に、誠実に、謙虚に、広い意味の愛と奉仕の精神をもち、自己開発を怠らず、社会貢献をしていく人材であれば、時代と環境がどんなに激変しようとも、社会から必要とされる存在であり続け、精神の平安を保ちながら、真の意味で安定した人生を送ることができるでしょう。

本学に入学し、巣立っていくすべての人材に、そうした幸せな人生を送ってもらいたい。

我々教師陣は切に願うとともに、本学での四年間が、その助走段階となるよう、学生の可能性、潜在能力の発掘、想像力、思考力、創造的英知の育成、開発援助に、さらに力を尽くしてまいりたい所存です。

今、函館大学の学生諸君に求められるもの



●みちのく銀行取締役頭取

増田孝介



みちのく銀行
設立／大正10年、株式会社青森貯蓄銀行として設立
資本金／241億6千7百万円(平成9年3月)
従業員数／1,733名(平成8年度)
店舗数／114
(平成9年6月、本・支店、出張所、海外駐在員事務所)

九十七年度の採用戦線は、就職協定の廃止という変革期にスタートしました。これにより就職協定遵守懇談会に加盟していた約三百社の大手有力企業の採用活動は、自己責任のもとで自由に行うことが可能になり、加盟していない企業にとっても自由化した環境の中で採用活動の再構築を迫られるという大きなインパクトがあった年でした。

就職協定廃止のニュースにも、「これまでの就職活動のスケジュールが参考にならなくなる」「情報が混乱して惑わされる」「企業の動きがますます読めなくなった」「どのよう準備を進めればいいのか不透明」など就職活動を迎える学生にとつて、危機感を募らせることになったと思います。また、企業側にとつても活動時期だけでなく、採用方法についても時代の変化に対応した方法を模索する年となりました。

このような就職協定廃止という大きな環境変化のもとで、企業の採用活動は大幅に早期化、前倒しの傾向が目立ち、当行もそうであったように、全体的にみても昨年に比べて一カ月以上も早く終盤を迎えたと聞いています。

今、銀行業界は過去に経験したことのない大変革期を迎え、銀行は潰れないという神話はすでに崩壊し、二〇〇一年のビッグバンには銀行が破綻した場合、預金者の自己責任も問われる時代が到来すると言われています。このような背景を聞いてか学生の一部には、いま金融界は大変だから銀行への就職は避けようという傾向があるようですが、それは間違っていると思うのです。まあ、当行としてはそれで避けるような人には来て欲しくないのですが…。

これからの金融界は二十一世紀を展望したワールドワイドな動きが始まろうとしています。ここで、その最後の大変さを経験し、苦しみながらも土台をつくり、さらに自らの手で将来の自分や企業を作り上げていこうとする気概の持ち主こそ必要なのです。

銀行マンといえは、「経済・経営学部出身で

頭が切れて真面目」が一般的なイメージのようです。しかし、当行で働く行員は「その基準なら、私は採用されなかった」と語るでしょう。それは銀行業務といえども基本は接客にあり、学部は問われず、人とコミュニケーションできる能力と自分自身を高めるやる気を何よりも評価されていることを誰もが知っているからです。当行が求めているのは、銀行は安定しているからといった動機だけの人や、最初から狭い分野で細く長くと考えているおとなしくて真面目なだけの銀行員を志望している人ではありません。時代が変わっていくその変化のうねりのまっただ中で、新しい時代を先取りしようという使命感と情熱に燃え、チャレンジ精神に溢れている人材なのです。

金融制度改革の流れの中で、当行は「家庭の銀行」をかげ、地域の金融機関としての役割を踏まえつつ、新しい道へと歩みだしております。一九九〇年にニューヨーク駐在員事務所を開設して以来、香港(現地法人も設立し金融業務を行っています)、ユージノサハリンスク、そして今年の十月二十日には、中国の武漢に駐在員事務所を開設することができました。したがって従来の地方銀行という固定的な枠組みの中で当行を捉えてはしくありません。国際化のニーズが高まる中、当行の求める人材とは前述の他に、広く世界に目を向け、グローバルな視点で時代や環境の変化に即応できる柔軟な発想力を持ち、語学力も兼ね備えた人物です。

当行を含めて、企業という全ての組織が求める人材に言えることは、積極的に自分の未来を切り開いていく意欲のある人や協調性があり、実力主義の重みに耐えられるタフさを持った人が望ましいと考えていることです。つまり、ポイントとしては次の五つがあげられます。

一、創造力(自ら新しいものをつくる)

二、チャレンジ(何事にも積極的に立ち向かう)

三、チームワーク(組織といえども人と人のつながりである)

四、語学力(国内はもとよりグローバルに)

五、健康な心身(身体だけではなく精神も)

このほかに若い皆さんの高い士気に満ちたエネルギー、さらにはボランティア精神のような、人・地域・環境へのやさしさが加われば、いかに厳しい環境にあるうとも恐れるものは何もないと断言できるでしょう。

当行では、最終的に採用を決定した学生には「自分で考え、選択した」と納得してもらう採用活動を行っております。今年、就職活動を行った学生の方にとっては就職試験を受ける機会が増え、また私どもも採用したい学生に会えるチャンスが増えたと思います。しかし、一番大事なことは「出会えた数」ではなく、「本命であるかどうか」なのです。入行後、こんなはずじゃなかったと辞めてしまうことがないよう、当行ではみなさんの話をじっくりと聞くことから始めています。皆さんの人間性・志望動機・人生設計・世間話などを聞いたり、当行の概況・経営方針・労働条件などを説明した上で、行員としての適性の把握と、希望に合う仕事かどうかを確認しています。

これまで、当行の採用活動についていろいろと話してきましたが、就職活動の第一歩はまず自分を知り、悪いところも含めて自分を好きになることから始まります。自分らしさを大切に、自信を持って就職活動に臨み、自分を最も活かせる仕事、職場を得られることを願い、最後に一言、「人生はハードルの連続である」と言った人がいます。何かをしよとすると、前に立ち上がるハードルは跳び前にはとてつもなく高く見え、気が滅入ってしまうものです。しかし実際に跳んでみると、思ったよりも簡単で、悩んでいたことがうそのように思えるものです。ハードルをひとつ越えれば次の自信につながります。若い皆さんも、これからの人生で数々の難関にぶつかる時もあるかと思いますが、ぜひ、自分を信じて何ごとにもチャレンジし続けてほしいものです。



私たちの異文化体験

交換教員・受入・派遣留学生

国際交流に意欲的な函館大学は一九九七年、オーストラリアの海外姉妹校から交換教員一人、留学生三人を受け入れました。また同年、三人の函大生がハワイの姉妹校での留学を終え、キャンパスに戻りました。そこでこの七人の皆さんにお集まりいただき、函館そしてハワイでの生活について、語り合っていました。

今、社会が求める人間像・大学像



●日本私立学校振興・共済事業団 理事長
戸田修三

現代のように価値観の多様化が進んだ時代になると、果して「社会や企業の求める人間像とは」という命題に対し、明確な答えを出すことは極めて困難だと思われる。かつて我が国が、西欧先進諸国へのキャッチ・アップを志向していた時代においては、国家にとって有益な人材をモットーに、それに沿って一定の知識・技術などの素養を身につけた人材が、社会や企業から「期待される人間像」としてイメージされ、それが教育理念の中核におかれていた。

しかし、これからは、複雑かつ不透明で、流動的な時代が予想され、これまで我々が経験したこともなければ想像すらできなかったような新しい問題が次々と提起されるであろう。したがって、予測できない全く新しい現象にも適切に対応でき、新しい社会と時代を創造するだけの能力を持った人材の育成こそが、求められる「人間像」ということになる。

その結果、これまでのような知識中心の学（校）層偏重の考え方はなく、深い教養と幅広い視野、総合的な判断力や豊かな創造性といった能力を身につけているか否かが、人間を評価する上での基準になるべきである。このように、学歴偏重から能力主義への発想の転換がなければ、新しい時代を創造することはできないであろう。その意味で、これからの教育は、単に知識や技術の修得よりも、個性的で主体的に物事を考え、創造力を身につけた人材の養成に重点が置かれなければならない。

このように、社会が、個性的で特色ある多様な幅広い人材を求めるとするならば、私学こそがそれに適った教育研究を展開するのに最も相応しい教育環境にあると思われる。この点で私学は、一定の公的な規制の故に国立では期待できないような教育研究分野の開発が望まれる。私学が主体的にそういう構想を展開することにより、私学の存在理由は一層高められ、二十一世紀に向けて私学の展望は大いに拓けるは

ずである。これにより私学に対する社会の評価は不動のものとなり、その結果、私学に対する公的な財政的支援についても社会の共感が得られるであろう。

戦後、高等教育の普及はめざましく、大学・短期大学への進学率は四十七％（平成九年）に達している。この大学の大衆化現象は、我が国の社会全体の知のストックを高め、その多文化を図る上で積極的に評価すべきものではあるが、それは大学の「質」の確保や水準の維持・向上とバランレルな関係で肯定されるべき問題である。もっとも、大学の「質」といっても、その捉え方については、これを単一の尺度や基準により一義的に捉えるべき性質のものではない。ただし、現代人の志向や価値観の多様化により、大学教育も、既成の大学の理念や大学像だけでは評価し得ないほど多様化しているからである。このように、大学像がひとつの尺度によって画一的に律することができないとすれば、結局、各大学が、固有の理念や目標を確立し、それに即して研究分野の特質に応じ、それぞれの位置づけを明確にすべきものである。したがって、一口に大学といっても、研究志向のものもあれば専門職業教育に重点を置くものもあり、また教養志向のリベラル・アーツ型のものや生涯学習を視野におくものがある。このように大学の多様化を前提に、それぞれの大学の理念や目標に沿っていかに充実度を図っているかによりその評価がなされるべきである。その意味で、研究志向のリサーチ・ユニバーシティというだけの理由でグレードが高いといった評価は偏見のそりを免れない。大学の多様化は階層化を意味しないことを注意しなければならない。

ところで、昨今、大学の大衆化により、その「質」の低下が心配されている。大学の「質」の低下の要因は種々あるが、その主なものは、学生の目的意識や学習意欲の欠如であり、それ

は偏差値教育による受験体制の弊害や社会の学（校）歴重視に起因する。すなわち、大学入学それ自体が自己目的視されるだけでなく、大学受験の目的が受身身の知識修得のみに偏り、学生の思考力・判断力・創造力の検証に役立っていないことによる。また、大学サイドも、固有の教育理念・教育方針や大学のビジョンないし将来像などの明確な策定が充分でないだけでなく、研究と教育という伝統的な大学のイメージだけに固執して、ともすれば教育機能の重要性についての意識が希薄化し、それが学生の能動的な自己啓発意欲の欠如と相俟って、「質」の低下をもたらしたとも考えられる。

それと若干関連するが、私学の入学者選抜については、偏差値志向を捨て、その建学の精神や教育理念に共鳴する学生を積極的に入学させ、これに充実した個性的な教育を施して学生に付加価値を与えて社会に送り出すというポリシーを堅持することが望まれる。

大学教育の水準を維持・向上し、大学の「質」を確保するための方策として、入学者選抜の厳格化による入学者の質の確保という方策は、もはや高等教育への収容力が一〇〇％（平成二年）と予測されている状況の下では現実性を欠く。したがって、結局、入学後の教育内容や方法等の質の充実・向上以外に方策はない。同時に、大学の「質」の確保にとって、評価システムの確立とその実践は不可欠で、自己点検・評価の他、大学人による相互評価・外部評価・学生による授業評価等、多面的な方法でこれを実施することが絶対必要である。

大学評価を基礎としたアカウンタビリティ（説明責任）により厳しい競争的な環境における大学教育発展の方向を志向するのが、これからの大学人の使命である。その場合、大学の本質は何かという「不易」の課題と、時代と社会の求める新しいニーズは何かという「流行」の視点から大学像を問い直す必要がある。



加藤慎吾さん



入谷大介さん



リンカーン・バットさん

ハワイ留学で自分再発見

マーニー／ハワイパシフィック大学での留学生活はどんなでしたか？

山本／宿題がたくさん出て大変でしたけど、休みはボディボード三昧。勉強と遊びのケジメのある充実した生活だったと思います。本当に楽しかったです。

マーニー／アメリカ文化と日本文化は、どこが違うと思いましたか？
山本／難しい質問ですね。いちばん違うと思ったのは、食べ物の味。アメリカは味が付けが大胆で濃い。日本は繊細。人間にとってもっとも身近な食べ物を通して、文化の違いを感じとれたように思います。
入谷／ハワイが国際色豊かなのは驚きでしたね。じつにいろいろな国の人々が生活していました。

リンカーン／バララットはそれほどでもないけど、近くのメルボルンはそんな感じですよ。入谷／そうですか。世界は広いんだって実感させてくれる環境ですね。そういう中に身を置いてみて良かったと思います。違う国の人たちと接していて、「あ、こういう考え方もあるのか」って思うことは多かったから。もの見方が広がったような気がします。
田中／加藤君は留学前は、風貌がかなり変わって帰ってきたよね。ハワイの友達に影響



されたんですか？

加藤／けっこうワイルドな友達がいましたからね(笑)。僕、向こうでは自分からたくさん友達をつくるようにしていたんです。そのためには自分は何が好きなのか、どんなことを考えているのかを、話さなきゃならない。自分ってどんな人間なのか、改めて考えているうちに、日本にいた時に眠っていた本当の自分が目覚まし、こんな顔になって帰って来たと言わなければ(笑)。
マーニー／講義が英語だから、むずかしいということはなかったですか？
加藤／ありました。

マーニー／困ったでしょ。そういう時どうしたの？
加藤／僕、あんまり悩まなかったんです。だんだんわかるようになるだろうと思って。のんびり屋なものですから。
一同／(笑)
田中／函館大のみんなは向こうで一年間みっ



興味の尽きない国、日本

田中／まずオーストラリアの皆さんに、どんな目的で日本に来られたのか、そのへんからお聞きしたいのですが。

ハーディ／私の専門は演劇で、かねてから興味のあった日本の歌舞伎や能について学びたいというのがひとつ。それとオーストラリアにいる時から剣道をやっているの、本場で腕を磨きたいというのがもうひとつの目的です。

マーニー／日本には、高校で日本語の授業を受けていた時から、来たかったんです。オーストラリアとは異なる文化を感じてみたかったから。歴史や経済、オーストラリアとの関係についても学びたいです。

リンカーン／僕も大学に入る前から留学を考えていました。国際的に強い影響力を持つ日本の経済やビジネスに興味があった。

マーニー／私は以前に一度日本に来たことがあるんです。仙台で一年半ほどジャズシンガーをしていたんですが、その時に日本のことが大好きになって、いろいろ知りたいと思うようになりました。それでバララット大学に入学し、一生懸命日本語を勉強して、函館大に来ました。留学の夢がかなって喜んでます。日本のビジネススタイルなど、学びたい

出席者

- スコット・ハーディさん(専任講師、英語担当。オーストラリアニューカッスル大学から交換教員として一九九七年五月着任)
- マーニー・スタンクリフさん(オーストラリア・バララット大学からの初の留学生として一九九七年十月来函)
- マリ・ダンさん(右同)
- リンカーン・バットさん(右同)
- 山本慶さん(大阪・桜塚高校出身。ハワイパシフィック大学に一年留学)
- 入谷大介さん(東京・正則高校出身。ハワイパシフィック大学に二年留学)
- 加藤慎吾さん(札幌・丘珠高校出身。右同)
- 司会／田中弘樹(専任講師)

ことはたくさんあります。

田中／日本にとっても興味を持って下さって、うれしいです。留学生の皆さん、講義はどうですか？ 日本経済やマーケティング、国際貿易などの専門科目にも意欲的に取り組んでいますよね。

マーニー／留学生向けの特別講義は英語を交えての授業だから、ほとんど理解できます。でも、日本の学生といっしょの講義は、語学力がまだ十分じゃないので、難しいです。日本語がわからなくちゃ！

田中／マーニーさんは中国語やロシア語、フランス語も選択していますね。語学の勉強が好きなんですね。

マーニー／ええ。

田中／今まで勉強したのは何カ国語くらいですか？

マーニー／フランス語、中国語、日本語、スペイン語、ドイツ語。どれも少しづつですけれど。

函館大生一同／すごい！
田中／刺激受けるでしょ(笑)。君たちもどんな質問して下さい。

入谷／函館の印象は？
リンカーン／日本は狭いと聞いていましたが、函館は思ったよりも広々しています。

マーニー／美しい街ですね。日本のお寺と教会が並んでいる元町の風景は、とても面白いと

思いました。

マーニー／函館の人口はメルボルンの八分の一くらいなのに、こちらの方が人が多いように感じます。人口密度が高いからですね。

マリ／自転車に乗る人が多いのには、驚きました。私も今は乗ってますけど(笑)。オーストラリアはとにかく広いから、自転車は役に立たないんです。移動の手段はもっぱら車。函館にある市内電車もあまり見ないですね。

ハーディ／私は市内電車をけっこう利用するんですが、乗り合わせた人がよくカタコト英語で話しかけてくれて、楽しいです。函館の人はとてもフレンドリーだから、機会があったら、学外の人も積極的に交流したいと思っています。

マーニー／ええ、ぜひそうしたいです。英語を習いたい人がいたら、教えてあげたいと思います。

山本／こちらに在る間に勉強以外でやりたいことは？

リンカーン／函館周辺や北海道のあちこちを観光したい。札幌雪まつりにも、もちろん行くつもりです。

マリ／私は書道に挑戦したいと思っています。オーストラリアでは空手をやっていました。日本の伝統的なものにとっても興味がある

ちり英語研修を受けてから専門科目の講義を受けてますからね。マーニーさんたちはすぐに一般の講義を受けてるんですから、その点は大変ですね。

リンカーン／いい日本語上達法があったら教えてください。

ハーディ／スポーツを勧めたいですね。私は剣道をやってますが、うまくならないから、日本人の先生や仲間に、知っている日本語をみんな使って、いろんなことを聞くんです。それを繰り返しているうちに、自然な会話が身についてきました。

田中／そうですね。私もイギリスに留学していたころ、テニスをよくやっていたんですが、言葉かけ合いながらゲームを楽しんでいるうちに、英語のお国なまりがわかるようになってたんですよ。確かにスポーツは、語学上達のいい手段かもしれません。函館大生のみならず何かアドバイスはないですか？

加藤／頑張ってボーイフレンド、ガールフレンドをつくる。僕はこれに付き合っていますね。

田中／うーん、それも言えるかもしれないね。とにかくたくさん話す、聞くということが大事だから。加藤君は、ハワイでたくさんガールフレンドできたの？

加藤／ノーコメントとさせていただきます(笑)。ちなみに皆さんお酒は好きですか？
リンカーン／僕たちみんな日本酒は大好きなんです。

加藤／じゃ今度はみんなで飲みに行きましょう。田中／遊びばかりじゃなく。勉強の面でもサポートしてあげて下さいね。オーストラリアの皆さんには、函館での生活を存分に楽しみたいと思います。また、函大の皆さんには、ハワイでの経験を、これからの生活に大いに役立ててほしいと思います。今日はどうもありがとうございました。



田中弘樹 専任講師(司会)



マーニー・スタンクリフさん



スコット・ハーディさん



マリ・ダンさん



山本 慶さん



入試概況

函館大学の入学試験

少子化を背景に、受験・就職に対する高校生・大学生の地元志向が強まっていますが、函館大学は「若い頃に未知の土地で学び、仕事をし、自己を成長させたい」という意欲と活力のある学生を今後も全国から集めていく方針です。そのため、魅力ある大学づくりをさらに進めるとともに、函館と函館大学で人生の貴重な四年間を送ることの意義を、受験生の心に響く方法で、積極的にPRしていく必要があると考えています。

●ユニークなアラカルト方式

本学の入試には次の三つの点で大きな特長があります。一つ目は、第一期・第二期入学試験ともに「アラカルト方式」を採用していることです。これは、「国語」「英語」「数学」「簿記」「日本史」「世界史」「政治・経済」の中で、試験当日、会場で実際に問題を見ながら、受験科目を選ぶことができる方式です。高校での授業を大切にしていれば、試験当日に受験科目を変更することもできますから、日頃の実力を十分に活かれます。

●成績よりも人間を見る

「自己アピール書評価制度」
二つ目は、「推薦入学試験（一般）」において、「自己アピール書評価制度」を取り入れていること。これは、それまでに取り組んできたボランティア活動や文化芸術活動、また、大きな感動を得たさまざまな体験などを書面で提出してもらい、評価のポイントに加算するものです。学業成績の他に一人一人の個性や内面を見ていきたいという意向から実施されています。記載する内容は、高校在学中のものに限りません。

人の個性や内面を見ていきたいという意向から実施されています。記載する内容は、高校在学中のものに限りません。

●来たれスポーツの才能！

「スポーツ・カテゴリー」
三つ目は、同じく「推薦入学試験」の中の「スポーツ・カテゴリー」枠です。これは、本学が定める種目において高校在学中にすぐれた成績をおさめた生徒を対象にするもので、入学後も該当種目を続ける意思があれば受験することが出来ます。内容としては、競技歴を中心とした書類審査のあと、実技と面接を行います。

●募集種目

剣道・卓球・硬式テニス・硬式野球・バドミントン・少林寺拳法・ハンドボール・ソフトテニス・ボウリング（※種目により男子のみの募集となります）

●入試会場は全九カ所

従来の函館、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪に加えて、一九九八年度より

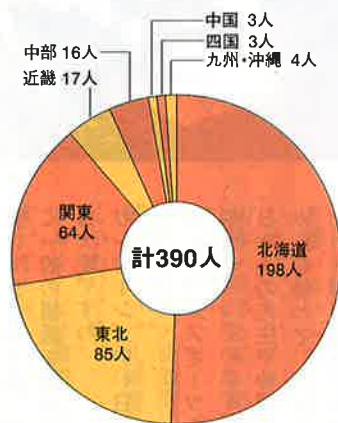
り青森、新潟、金沢でも一般試験が受けられるようになりました。
●課外活動等業績評価対象の拡大
推薦入学、第一期・第二期入学試験ともに、およそ以下のような項目で、課外活動等業績評価ポイントが加算されます。

- ・課外活動（体育・文化）
- ・生徒会活動・奉仕活動
- ・各種大会出場と入賞歴（体育・文化）
- ・簿記検定試験（日商・全商）
- ・英語検定試験（実用・全商）
- ・販売士試験
- ・情報処理技術者（通産省・全商）
- ・TOEFL
- ・秘書検定試験（実務・全経）
- ・ワープロ検定試験（日商・全商）

●学業優秀者に対する「特別奨学生制度」

第一期入学試験における成績上位者の中から面接の上、特別奨学生を選考しています。特別奨学生には、入学から卒業までの学費（入学金・授業料）を奨学金として給付します。

●一九九七年度入学者都道府県別内訳
五〇％近くが本州出身者。本学の特徴のひとつが「全国型大学」であることです。



その他、お問い合わせご相談は、下記まで。

函館大学入試事務局

〒042-0955 函館市高丘町51番1号
フリーダイヤル 0120-001172
TEL0138-57-1181 FAX0138-57-0298
(平日は9:00～16:00、土曜日は12:00まで)

後列左より
教務課長 黒澤幹生
入試委員長・助教 今井敏博
教務係長 岡嶋雅昭
課員 鈴木克尚
前列左より
課員 荒木弘子
課員 稲村早苗



北から南から 出身校紹介

●遺愛女子高等学校

本年度創立一五五年。一八八二（明治十五）年、米国人の宣教師ハリス婦人の意志により、キリスト教主義の女子学校として函館に創立されました。明治の初期、このまちが海外に開かれはじめたころの息吹をいまに残す北海道でも有数の伝統につつまれた女子高等学校です。今日までに送り出した卒業生は一万七千人

以上。広い敷地には歴史を伝える建物や施設も多く、青春の舞台としての魅力にあふれています。旧宣教師館は函館市の観光ポスターにも使われたほどの傑作建築です。また一方で、先進のAV機器などを備えた新しい校舎群もあり、これらの歴史建築と情緒豊かに美しく調和しています。

学年は「普通科一般コース」「普通科特別進学コース」「英語科」の三つに分かれ、いずれのコースも、信

●福島県立福島商業高等学校



仰・犠牲・奉仕」という基本精神を実践しながら、レベルの高い人間的な進学指導がなされています。個性と適性をのばす専門学科として一九六九年に作られた英語科は、北海道では先駆的な存在です。

福島市の信夫山のふもとに広大な敷地を持ち、この秋記念すべき百周年を迎えた福島商業高校は、県内でも有数の歴史と伝統を誇る職業専門高校として、これまでに二万名を超える人材を輩出してき

ました。現在は経営情報科、マネジメント会計科、国際経済科、情報処理科の四学科編成。昭和四十七年に設置された情報処理科は、東北地方で二番目、県内では第一号となったコンピュータ教育の専門科で、経営情報科は全国で唯一、マネジメント会計科は県内で唯一の存在です。こうした進取の校風の上に平成七年度からは男女共学がスタート。社会の情報化、国際化、多様化に対応する実践的な商業教育が、



本校は昭和十六年、福岡県柳川市に商業学校として開校。昭和四十三年から普通科を併設し、現在では特進・普通科、商業科、国際科の四科構成で、一人一人の目標を尊重した個性化教育を実践しています。中でもICC国際科は、二年次に一年間留学することがカリキュラムに組まれたユニークな学科として知られています。留学先は、十九カ国に広がる四十一もの姉妹校の中から自由に選ぶことができます。国公立大学をめざす特進、中身の濃い授

●柳川高等学校



業をゆとりを持って展開する普通科、コンピュータを取り入れた商業の各科においても、教員及び施設ともに、夢と希望にあふれる高校生活をおくるにふさわしい環境がととのっています。クラブ活動では、なんといってもテニス部が有名で、男子はこれまでに十四年連続を含めて二十回の全国制覇を数え、日本のトッププレイヤーを数多く輩出しています。ほかにも野球部、柔道部、体操部、卓球部、剣道部、美術部、ワープロ部などの活躍が顕著です。

論文名

北檜山町の

「むらおこし」事業

観光マーケティングからの提言

●名誉教授 大野和雄



●テーマについて
お聞かせ下さい。
過疎に悩む全国の多くの町や村が、その打開策として観光を打ち出しています。この論文では、道南地域にある北檜山町の取組みを紹介しながら、地方における今後の観光の在り方について提言しました。

北檜山町の取組みの特徴は？

自分の住んでいる町の良さは気づきにくいものですが、北檜山町では、緑と水と美味しい空気と新鮮な食べ物という自らがもつ観光資源の価値をきちんと評価し、都会をマネることなく、ごく自然体の北檜山町を見てもらうという考え方に立脚していること。また、安易に集客をねらって観光施設を整備するのではなく、町民が楽しく暮らせる環境をつくること、外部の人をも引きつける環境づくりにつながると考え、様々な面で町の内部充実を図りながら、観光施設を整備していることの大きく二つがあると思います。

●先生の提言は？

観光を通して地域の活性化を図るためには、北檜山町のような、町の特異性を生かした総合的な町づくり、町民と観光客の心の通い合う環境づくりこそが望まれると思います。

論文名

経営事務管理と

ファシリティ・マネジメント

●助教授 高橋 真



●ファシリティ・マネジメントとは？
一九八〇年代にアメリカで提唱された経営管理の手法で、端的にいえば、生産性の向上や経営の高度化などのために、ヒト、モノ、カネ、情報などのファシリティ（施設）を統合的にマネジメント（管理）することです。アメリカの企業ではすでに定着していて、これを担当するオフィス・マネージャーという職種も確立されています。

●日本では聞き慣れない言葉ですね。
ファシリティ・マネジメント論は、すでに日本にも導入され、高く評価されたのですが、じつさにオフィスマネージャーを置いて実践している企業は少ないですね。
その大きな理由は、日本とアメリカの事務に対する認識の違いにあると考えます。
アメリカの企業にとつて事務とは、意思決定に必要な材料を集めるための戦略的システムなのですが、日本では書類の保存や整理といった裏方のシステムと捉えている企業が少なくありません。しかし、複雑な組織と施設を有する現代の日本企業にとつてファシリティ・マネジメントは、経営効率化のための有効な手段です。また、オフィス・マネージャーは女性に向いている仕事だと思えますので、大卒女性の能力を生かすという意味でも、もつと導入を検討されてもいいと思います。

論文名

製品、企業名、生産国に対する

知覚マップの必要性について

従来の知覚マップの
限界に対する解決策

●専任講師 世良耕一



●知覚マップとは？
消費者の様々な知覚に基づいて製品を位置づけたもので、製品が消費者にどのように認識されているかを把握し、マーケティング戦略を立案する上で重要な手がかりになるものです。

●論点を説明下さい。
品質よりも企業のイメージで製品を選んだら、同じブランドの洋服なのに国産品とアジア産で違う印象を受けたりといった経験が、皆さんにもあると思います。消費者の製品に対する認識というのは、製品そのものの性能のほか、企業名や生産国によっても違ってくるのです。
これらを区別せずに作成されていた従来の知覚マップは、消費者のイメージが製品そのものの性能に対するものなのか、企業名に対するものなのか、生産国に対するものなのか不明確で、誤ったマーケティング戦略を立案してしまう危険性もありました。そこで、この論文では、製品・企業名・生産国別に知覚マップを作成する必要性があることを問題提起しました。メーカーの海外生産が進み、一方で消費者のブランド志向が根強く残っている現代、的を得たマーケティング戦略を立てるためには必要手段だと思います。

論文名

Structural and Cultural

Analysis of Japanese

日本語の構造と
成立についての考察

●専任講師 ブライアン・ダッフ



●要旨を説明して下さい。
日本語の特徴を、発音や文法、成立の過程などの面から研究しました。日本人の方にと読んでいただいても、面白い内容になっていると思います。

私のような英語を母国語とする者にとつて、日本語は話すのはやさしいが、読み書きは非常に難しい言語なんです。この論文ではその理由を、学問的に解説しています。日本語が話しやすいのは、音節の種類が少ないことに起因しています。英語には三千を超える音節の組み合わせがありますが、日本語のそれはわずか百七。ですから発音を覚えるのはそれほど難しくありません。反対に、日本人の学生が英語の発音を覚えるのは難しいと言えます。日本の英語教育はもつと発音の練習に力を入れた方がいいと思いますね。

読み書きが難しいのは、英語がわずか二十六文字のアルファベットで成立しているのに対し、日本語には漢字、平仮名、カタカナ、ローマ字という複雑で多様な文字があるからです。とくに漢字を覚えるのは大変な努力を要します。それと会話する人との関係によって使い方の違ってくる敬語も、日本語の難しさのひとつですね。

著書紹介



「香雪園の四季と樹木」

函館見晴公園探訪

(非売品)

●教授/上平 幸好

本学のすぐそばにある香雪園は、函館の繁栄期に、この地で成功した呉服商の岩船家が、住民に感謝の意を表すため、一般開放を目的に私財を投じて造った日本庭園です。現在のように市の所有になる以前から、花見や遠足の格好の場として市民に親しまれてきました。香雪園の特色のひとつは、植物園並みに樹木の種類が豊富なこと。岩船家の財力で本州から運び込まれたコウヤマキやマ

メザクラなど、本来北海道には自生しないものもしっかりと根づいています。「これらの樹木の四季折々の姿を記録し、地域に向けて学術情報を発信したい」との思いで執筆を始めた。

きて、こうした分野についての考察も試みました。岩船家に関する資料も集めて収録しています。植物も建築も私の専門外なので、プロの批判に耐えられるようにと各地の植物園や庭園を訪ね歩いて研究しました。完成までに五年かかりましたが、それだけに愛着もひとしおです。四百年発行し、函館市内の学校や道内の大学、全国の理・農学系の大学に寄贈しました。



「経営の創造性を科学する」

(中央経済社・定価三、一五〇円)

●助教授/藤嶋 暁

ビジネスは、問題解決の連続です。私もシャープ(株)勤務時代の二十九年間は、問題との闘いの毎日でした。答えを見つけないのに四苦八苦するのが常でしたが、時には悩み抜いた末に突然ひらめいて解決、ということもありました。同じような経験をお持ちの方は多いでしょう。そうした「ひらめき」はどこからやって来るのか。たくさんひらめく人は、そう

でない人とはどこが違うのか。これらのことは、私がかなり以前から抱えていた疑問であり、本学で学問の世界に身を置くようになってから、いろいろと研究を積んできました。「ひらめき」は偶然や幸運の産物として考えられがちですが、それは不完全な解決策から完全な解決策への「飛び越え」であり、その間には、論理的で機械的なひとつのメカニズ



「文化系のための情報科学入門」

(高文堂出版社・定価二、二〇〇円)

●専任講師/津金孝行

現代は情報化社会。パソコンは一般的なツールとなり、マルチメディア関連用語が新聞や雑誌にしばしば登場するようになりました。本学のような文系の学生やビジネスマンも、コンピュータやマルチメディアについて、よく知っていないければならない時代です。ところが今の情報科学(コンピュータ・サイエンス)のテキストは理工系の学生を対象にした

数理的、工学的な内容のものがほとんど。そこで、文系の方の学習に適したものをと、本書を著しました。文系に必要と思われる、「情報とは、コンピュータとは、マルチメディアとは何か。機器にはどんな種類があり、どんな利用ができるのか」といった基礎的、実用的な知識を説明し、商学への応用を紹介してあります。数学やメカはダメという人にもと

つつきやすい入門書にするため、数式をできるだけ減らし、平易なことば遣いに努めました。通読していただくと、わが国がいつまでも、わが国にない言葉が出てきた時に、索引を見てサッと調べられるというような事典的な使い方もできます。情報化社会のビジネスに必要な基礎知識を身につける手助けになれば幸いです。



PROFILE 教職員



●教授
藤田 徹

数学の極意は練習

能が大好きで、劇場中継をビデオに録りためておられるという藤田先生（「数学」担当）。「でもあまり見ないようにしてあります。他のことを何にもしなくなっちゃうから（笑）」もうひとつの楽しみは詰め稽。小さな盤上の大きな世界に魅かれるとか。

「なかなか上達しなくてね。スポーツでも芸事でも、うまくなる過程というのは、砂を手でをすくって、ためていくようなものだね。一生懸命指をくっつけてすくえば、わずかでも砂が残って、少しづつたまっていく。練習の成果はすぐには目に見えてこない。投げ出さないで続けることが大事だと思う」

数学も同じだとおっしゃいます。

「練習問題を繰り返し解いていると、わからなかったことも、わかるようになるものです。要は、できないと決めつけないことです」

その点、本学の学生諸君はどうですか？

「講義で練習しているうちに、苦手だった学生も、けっこう出来るようになってますよ。数学は論理的な能力を養うのに役立ちます。本学のような文系の学生にこそ、勉強してもらいたいと思いますね」



●助教授
田部井英夫

函館は街も人も個性的

国際経済学などを担当している田部井先生は、フランスでの長期にわたる研究歴をお持ちです。

「パリ社会科学高等研究院では、社会経済発展論を専攻しておりました」

現在は「欧州統合化とグローバル化」の研究に取り組んでおられます。

パリはまるで研究者のフォーラムとのこと。

「世界各国から権威ある研究者がパリに集い、毎週のように刺激ある講演を聞くことができ、知的興奮に駆られた日々を、懐かしく思います。フランスは私に批判的精神と芸術的感性を教えてくれました」

六年前に東京にUターン、東京の大学などで講師を務めた後、昨年四月に本学に着任しました。

函館については、「風情のある街ですね。それにフランス人の気性に似たところがあるみたいですね」

渡仏前はよく登山をし、「深田久弥の日本百名山」の半分近く制覇したとか。

「いまはもう足が山から遠のいてしまいました。函館山と恵山には登りました。もちろんちゃんと歩いてですよ（笑）」



●専任講師
寺田 隆至

気分転換の秘訣は？

研究室や書斎にこもることの多い大学教員にとって、気分転換は大切。寺田先生（「産業構造論」などを担当）の場合、料理がそのひとつです。

「一年ぐらいい前から始めました。何もかも忘れて没頭できるのがいいですね」

得意メニューは、

「ポテトサラダ。これが一番失敗が少ない（笑）。イカ料理もよくつくりますよ」

週に二度ほど奥様に代わって夕食の仕度をするそうです。奥様の評価は、

「味は合格点だけど、家庭料理にしては材料費がかかり過ぎだと言われています。それから時間も。ありあわせの材料で工夫して美味しいものをつくるのって、難しいですよ。主婦の苦労がわかりました。今は、料理の本を見ながら悪戦苦闘している段階なんです。そういうものに頼らずに料理できる人がうらやましい。趣味と実益を兼ねて少しづつでも上達していければと思っています」

学生の皆さんが寺田先生の料理を試食できる日もそれほど遠くはないかもしれませんね。



●専任講師
スコット・ハーディ

剣道三段デス

姉妹校オーストラリア・ニューカッスル大学からの交換教員として昨年五月着任したハーディ先生。二十七歳という若さと持ち前の明るいキャラクターで、学生たちの人気を集めています。担当は英語と英会話。

「学生諸君はともフレンドリー。だけど授業中はおとなしいね（笑）」

雰囲気盛り上げようと、いろいろなパフォーマンスをしても、

「みんなあんまりノッてくれないので、ちよつとサミシイ」とか。専門は演劇で、

「歌舞伎や能などの日本の伝統的な舞台芸術には、とても興味があります」

日本文化の吸収に意欲的なハーディ先生。得意なスポーツは、何と剣道。七年前に始め、現在、三段。さらに腕を磨こうと、函館滞在中は、本学教授で剣道六段の宮崎正孝先生の指導を受けています。もっかの目標は、

「今年四月のオーストラリア全国大会での優勝」だそうです。頑張ってくださいね！



●教務係長
岡嶋 雅昭

大事にしたい、函大の持ち味

函館大学勤務十六年目というベテラン。

若者の個性化が指摘される昨今ですが、

「本学の学生を見ていると、必ずしもそうとはかりは……。みんなのびのびしていますよ。自信を持って言えることは、函館大学は少人数教育により、教職員と学生が親密になり、このことがマンモス大学にはない、本学ならではの温かい雰囲気を作っていることです」

十八歳人口の減少により、私立大学の学生募集は厳しい時代を迎えています。

「入試事務局の一員として、やりがいと責任を感じています」

函館大学ではこの春の入試から青森、新潟、金沢と試験会場を三カ所増設しました。なかでも新潟、金沢は道内の大学の中では新しい試みです。

「このように他の大学が未だ取り入れていないことの中で有効手段と考えられることを、どれだけ先取りし実施していくかが、鍵になるでしょう。広く各地から、個性ある学生を集め、全国型の大学という本学の特色を今後も守っていければと思っています」



●学生課員
島田まみえ

バレーボールは私の青春

奨学金や学割、住所変更などの事務を担当している島田さん。

「三年目で、だいぶ慣れてきました。先を読んで仕事をするというのが今の課題です」

函館大教職員にはスポーツ好きが多いですが、島田さんもその一人。高校、短大と続けてきたバレーボールに今も夢中です。市内のクラブチームに所属し、週三回は練習。大会にも出場しています。一七二cmの長身がたたき出すアタックはきつと威力抜群でしょう。

「函館では実力ナンバーワンのチームなんです。最近負けが続いているので、頑張るところなんです。全道優勝をねらっているの」

チームメイトの年齢や職業は様々。

「バレーが好きというだけで、いろいろな人と仲良くなれる。年上の方から教えられることも多いですね。続けてきてよかったって思っています」

バレーの話になると目がキラリ。島田さんにとつて、バレーは恋人にも似た存在のようです。

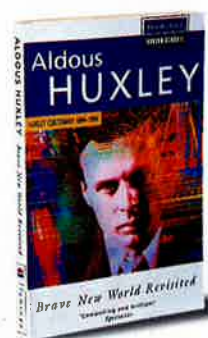


●教授
宮崎正孝

この本は一種の未来学の本で、二十世紀がどのような世界であり、どのような社会が訪れるのかを占っており、現在の世界の人口は五十億人ですが、二五〇〇年、いまから五、六十年後の世界を想定して論をすすめています。

人口が増えるとうなるか。独裁者のような非人道的な指導者が現れて我々を統制しようとする。そうすると我々個人の自由が失われ、人間の尊厳がなくなってしまう。我々の人間関係はぎくしゃくして、生きる希望がなくなってしまう。

ハックスレーは、我々に自由の重み、道徳の大切さを説いておられます。必読のこと。



Brave New World Revisited
オルダス・ハックスレー著 (Flamingo)



●助教授
若松裕之

十二世紀のヨーロッパ以来、それは孤独と自由の中で人間により養われるものとされてきた。ドイツ観念論哲学の影響下で、官吏と学者以外の職業は貶められていた旧制帝国大学の伝統にそれを見ることができ。そして、戦後の新制大学も大学であるからには、こうした「教養」を授けるべきものと考えられてきた。しかし、学問の細分化と形式化、および大学の多様化により、このような教養教育は実際には不可能になっている。

では、現在の状況の中でいかなる「教養」が可能であろうか。著者は、学校教育の中では無視されているが、実は社会の中に厳然として存在する「世間」と個人の関係に注目する。そして、新たな教養人の姿として「世間」の中で自分の役割に自覚的であり、自らの生き方を通じて周囲の人に自然に働きかけてゆくことができる人間を提示する。

それにしても、一橋大学学長という多忙な職務の中で、洋の東西を問わない該博な知識に支えられた論考をまとめた著者の力量には感嘆せざるをえない。



教養とは何か
阿部謹也著 (講談社現代新書)



●専任講師
山田康夫

ある夜、SF作家ルークが新作のことで悩んでいるとノックの音がする。戸を開けるとそこには身長約七〇センチで全身緑色の火星人が立っていた。彼の第一声は「よう、あんちゃん。ここは地球かい?」ここから物語は始まるのだが、火星人の目的は侵略でも友好でもなかった。彼はただ人間をからかいて来たのだ。彼は姿は見えないが実体はなく瞬間移動や透視ができ、しかも悪意の塊である。その上地球にやってきたのは一人ではなく約十億。地球全体がパニックに陥ってしまうそのどたばたぶりがやたら可笑しい。

この作品は五〇年代に世界中でヤンキー・ゴー・ホームが叫ばれていたところに書かれたものであり、作者はフレドリック・ブラウン。ショートショート第一人者でもあり、星新一にも大きな刺激を与えた作家として知られている。尚、邦題は「火星入」である。早川文庫に入っているので、面白いのが好きな人は一度読んでみてください。



MARTIANS, GO HOME
フレドリック・ブラウン著 (早川文庫)



●総務課長
大山紀明

読書をするときでも眠たくなる体質のようで、ぐっすり休みたいときの睡眠薬であります。出張時の飛行機や汽車などの移動の時間内で読んで読んでいるのは、肩のこらない「雑学心理学」や「孫子の兵法書」などであり、この本との出会いも私の恩師(企業人)から「戦いに勝つための本があるよ」とのお話を伺い、ぜひほしいと思っていた一冊であります。

ランチェスター法則とは、一口に言ってしまうと競争の科学であり、もともと軍事戦略における損害計算から始まり、第二次世界大戦の中部太平洋における米軍の上陸作戦や基地確保の戦略として、その指導原理になったものであるが、その後この考え方は、オペレーション・リサーチ(OR)の基礎原理として経営管理やマーケティング戦略に応用されるようになりました。特にこのシリーズの弱者の法則では、武器効率を高めることによって相手に勝つことができ。例えば、一対一の戦いの場合は武術習得者の方が強いが、一〇対一の場合、一〇対一の場合であっても勝つことができるのです。一人であっても戦って勝つための武器を相手数や強さによって高めていくことが必要であるとの理論です。しかし、この武器選択とそれをこなすだけの能力が必要であることは言うまでもありません。



ランチェスター
販売戦略
1【戦略入門】
田岡信夫著
(サンマーク文庫)

平成9年度・就職戦線の総括と今後の展望

早期化・長期化・多様化の傾向

景気の緩やかな回復をうけて、企業が採用増加意欲を強める中で、平成9年度の就職戦線はスタートしました。新聞報道は、内定率が前年同期よりかなり好転していることを伝えています。本学における内定状況も、確かに上昇の傾向を見て取ることができました。

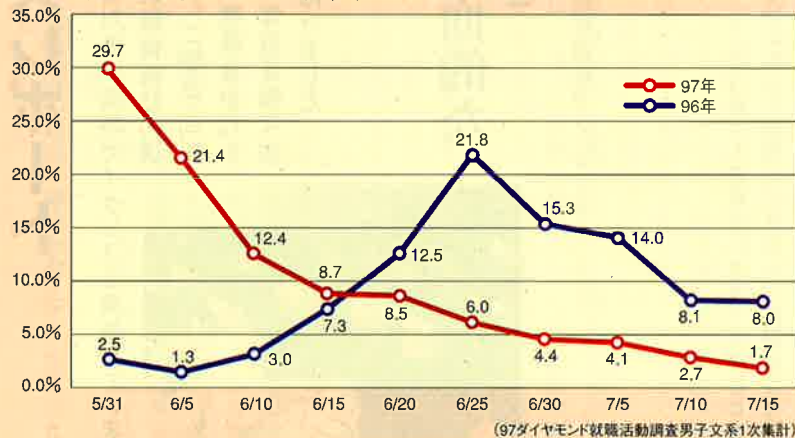
しかしながら、夏以降、金融・建設などの産業に見られる大型不良債権問題、住宅産業や流通産業をはじめとする需要不振、アジア開発途上国におきている金融不安などを考えると、決して楽観できるほどの状況にないことが認識されます。

平成9年度は、就職協定廃止・元年にあたりました。就職戦線は、春の段階で、早期化・長期化・多様化するという見通しがもたれていました。いまその終盤を迎え、概ね予測されたおりの進展になっています。

企業および学生による採用・就職活動は、確かに早期化しました。化粧品大手企業による、三月の選考開始宣言は、企業による早期採用活動の開始を加速させました。また、四割を超える学生が、前年の十二月末までに資料請求を開始し、三月には約半数の学生が企業セミナー・説明会に参加しはじめたという調査結果があります。双方による活動は、概ね一カ月ほど早まったといえます。

採用内定時期が早期化する一方で、採用活動の長期化傾向が見られました。下図は、就職情報誌のデータです。これによれば、五月末までになんらかの採用内定を得た学生は三割に達しています。採用のピークは、前年に比べて三週間程度前倒しされていると思われる

●グラフ/97、96年内定日の推移(%)



ます。また、七割の大手企業の採用活動が七月中にほぼ収束したと言われる反面、従業員数五百人未満企業では五割が同時期にまだ採用活動を継続していたという調査もでています。

景気動向などをにらんだ追加採用と、企業の採用活動の早期化がもたらした内定辞退への対応と思われる補充採用が増加したのも今年度の特徴です。本学ではこの状況に対応するため、未内定者向け就職ガイダンスを昨秋に実施し、かなりの成果を上げることができました。企業の内定者に対する意志確認も

●就職部長・助教授 大江田清志

強まりますので、企業選択を慎重にする必要があります。

企業の採用形態と採用手法における多様化が一段と進展しています。流通・外食産業を中心に、春・秋二段階採用や、大手企業を中心に職種・分野別採用が増加する傾向を見えています。あるいは、採用情報の公開と公正な採用という見地から、従来のリクルーター制の廃止と縮小、あるいはそれと平行して採用選考スケジュールの公表や自由応募制をとる企業が増えました。

果敢なチャレンジによる 自己変容・自己実現

内定先未定の四年生におかれては、上述のように、追加・補充採用のチャンスが増えていきますので、就職課との相談・連絡・報告をタイムリーに取るようにしてください。また、内定通知は、後輩のためでもありますので、必ず提出するようにしてください。

三年生については、徐々に就職セミナー等が本格化してきます。本学がシリーズで開催した就職ガイダンスや就職講演でのポイントを確認し、必要なことを必要な時期に履行しておくことが大事であると考えてください。とくに、志望する職種・企業研究については、いまずには始める必要があります。大学所定の履修書で、自身の履歴・志望動機・自己アピールポイント等を演習し、周囲の関係者や就職課の面接で助言を求める程度のことには自発的に行うようにしましょう。自ら求め行動することなくしては何も得られないのが就職活動です。果敢なチャレンジを通して、自己変容・自己実現されることを期待しています。



大江田清志 就職部長・助教授(前列右)
松喜美夫 就職副委員長・助教授(後列中央)
新関喜美男 就職課長(後列右)
干場勝 就職係長(後列左)
丸山真理子 就職課員(前列左)

講演

就職ガイダンスレポート

函館大学は昨年十月から三年次を対象に就職ガイダンスを実施しています。一回目(十月六日)には企業・就職情報社の講師による講演・パネルディスカッション、二回目(同十三日)には内定取得者による体験発表会が行われ、三年生たちは就職協定廃止二年目を乗り切る手掛りをつかむべく真剣に耳を傾けました。



能動的、多面的な
情報収集を
池田秀一さん
（関デニーズジャパン人事部採用教育シニアマネージャー）



終身雇用制や年功序列制度が崩れるなか、個人のより主体的な生き方が求められてきています。そこで皆さんにまず申し上げたいのは、就職より就職をしようという意識を、自分は今までのように生き、これからどのように生きていきたいのか、そのためにどんな仕事をしたいのか、しっかりと自己分析をしてほしいと思います。このプロセスを省略して、給料面などの条件や知名度だけで企業を選ぶと必ず失敗します。これは断言できます。

次に実際の就職活動に当たっての注意点を話しましょう。一つは情報収集についてですが、就職情報誌や入社案内、インターネットなど企業側から発信されるものだけでは、企業の一部分しかつかめません。欲しい情報は自ら求めるもの。OBやOGを訪ねて話を聞いたり、会社四季報を読んだり、能動的で多面的な情報収集を心がけて下さい。会社説明会について。企業は説明会の時点

から、もう皆さんを見ています。このことを念頭において出向いて下さい。事前に会社資料を読み直した方がいいでしょう。

履歴書についてですが、これは皆さんの分身です。書き方で、人柄や入社への思いがどの程度かわかります。ていねいに書き、写真や押印も曲がらないように注意して下さい。志望動機欄によく「御社の事業が自身の性格に最適」と書く人がいますが、このようなこの企業にもあてはまるようなことなら、むしろ書かない方がいいですね。個々の企業に合った志望動機を自分の言葉で書くようにして下さい。最後に、これは就職活動の最低限のマナーですが、説明会、面接、面談などにやむを得ない事情で行けなくなった場合は必ず企業に連絡すること。無断欠席は当人だけでなく、同じ大学の学生全体に悪い印象を与えてしまいます。以上のことに気をつけて、悔いの残らない就職活動を行って下さい。

パネル
ディスカッション

【パネリスト】

就職情報社

岡田航三さん……………（関文化放送ブレイク業務推進部マネージャー）
陶山千里さん……………（関デニーズ札幌支社長）

企業

池田秀一さん……………（関デニーズジャパン人事部採用教育シニアマネージャー）
森川輝樹さん……………（関デニーズハルバース採用グループリーダー課長）
コーディネーター／大江田清志（就職部長）

●自己分析の方法を具体的に教えていただきたいのですが。

陶山／自分の作成をお勧めしたいですね。小・中・高、大学については一学年ごとに、その時期どんなことに興味を持ち、どんな経験をしたか、それによってどんなふうに変化したかなどを、書き出してみると、自分のことがだんだん見えてくるといいます。また、自分はどうな人間か、友達や家族の意見を聞くのも、いい方法です。他の人が見た自分像は意外に違っていることが多いので、参考にしたいと思います。

●資料請求の際の注意点は？

陶山／就職情報誌の巻末ハガキには自己PRや志望動機を記入する欄が刷り込まれていますが、それらに答えていない学生には資料を送付しないという企業もあると聞いています。資料請求は、企業との最初のコミュニケーションですので、ていねいに行ってください。

岡田／はじめから業種や企業を狭い範囲に限定しないで、少しでも興味のあるところには資料請求した方がいいと思います。就職活動には落ちるというプロセスがつきものですが、説明会や面接を体験するなかで、自己分析を修正したり、志望業種を変えたりというのはよくあることです。そのために選択肢を広げておくことが大切です。

●資料送付に対する礼状は有効ですか？

池田／当社の場合、礼状でとくに点数が高くなるということはありません。しかし、いただいた礼状は履歴書などとともに保管され、面接まで行きます。当社に対してどのような意識で接触されたかが記録として残りますので、決して意味がないわけではございません。森川／当社も、いただいた礼状はすべて保管し、中でも内容の良いものは別途保管するようにしています。資料送付に対する礼状はよくいただくのですが、説明会や第一次面接の連絡に対する礼状は少ないので、これはけっこう有効かもしれません。

●業界研究、企業研究のコツを教えてください。

岡田／第一に新聞を読むこと。とくに経済面ですね。面接では、「最近新聞を読んで興味を持ったことは？」という質問が必ず出ます。日頃から経済面をよく読んで、経済の動きをつかんでおくようにして下さい。世の中の動きを手取り早くつかむには、新聞の広告欄に目を通すというの、ひとつの方法です。

第二に業界・企業を絞り込み過ぎないこと。なかなか内定をもらえない学生には、ひとつの業界・企業にこだわり過ぎる傾向が見られます。第三に、やはり企業や業界の人から直接話を聞くこと。合同セミナーや業界研究会にはほとんど出席して、食欲に情報収集することが必要でしょう。

●人材選考の最近の傾向を教えてください。



入社への意欲を
積極的にアピールしよう
森川輝樹さん
（関デニーズハルバース採用グループリーダー課長）

当社は、就職情報会社による平成九年度の道内企業大学生人気ランキングで、「成長性があると思う企業」の第一位にランクされました。「ドラッグストアチェーンがなぜ？」と不思議に思う方も多いでしょう。

今、国は薬剤の安全な使用のために「医薬分業」を推進しています。医師が処方せんを書き、患者のかかりつけの薬局が薬を出すという分業システムなら、複数の医師による多剤投薬や併用による副作用などを薬局でチェックできるという訳です。一方で、医療保険財政の逼迫により、制度の一部改正が行われ、サラリーマンの負担率が引き上げられました。これからは病院だけに頼るのではなく、自分の健康は自分で守るという時代です。こうしたなか、薬局やドラッグストアには、地域社会における健康管理・相談の窓口として、大きな役割が期待されています。

【ココが勉強になりました】



猪田健太郎
（函館中部高等学校出身・3年次・国際英文秘書コース）
ソルハさんから、薬局やドラッグストアは地域の健康管理・相談の窓口としての役割を担っているというお話があり、企業研究をする際には、そうした企業の社会的役割や理念といった、目に見えない部分についても注目しようと思いました。自分がその企業に心から共感できるかどうかは、重要なポイントだと思うからです。



前島紀恵
（函館北高等学校出身・3年次・国際英文秘書コース）
ガイダンスに出席して、就職活動に対して抱いていた漠然とした不安がなくなりました。企業の人事担当者の方や就職情報会社の専門家の方々から、たくさんの実践的なアドバイスをいただけたからです。これからも積極的に情報を集め、また、周囲の意見に謙虚に耳を傾けながら、きびしい就職戦線へ乗り切っていきたいと思っています。

岡田／採用の仕方は、企業によってそれぞれ違うので一概には言えませんが、私どもの調査によると、半分ぐらいの企業が前年度の方法に変更点を加えています。今年度についていえば、大きな変化はエントリーシートの導入でした。これは志望動機などをA4サイズの紙に二枚程度びっしり書かせ、入社に対する意欲を判断しようというものです。このように企業の採用の仕方は変化するので、先輩の成功談は後輩にはなかなか通用しません。基本的には人物重視、面接重視の選考方法に変わらないのですが、応募してきた全学生に会うのは企業としても物理的に不可能なので、筆記試験や論文も重要になってくるし、当然それらへの対策も大切でしょう。

●面接で好印象を与えるためのアドバイス。

池田／反対に好印象を受けない学生のタイプを上げること、その質問にお答えしたい。自分がその企業のどこに魅力を感じ、どんな仕事をしたいのか、明確に説明できない人。プライドばかり高くて自意識過剰の人。「学生時代に真剣に取り組んだものは？」と聞かれてはつきり答えられない人。一般的に言って、こういう学生はあまりアピールしません。

森川／当社では面接の際、第一印象を重視しています。これだけだいたい決まるといっても過言ではありません。医薬品の小売業である当社にとって、社員がお客様に与える印象は、とても重要だからです。挨拶がきちんとでき、清潔感があるかなどに加えて、私どもがキーポイントにしているのは笑顔。リラックスして面接を受け、笑顔を見せてくれる学生には好印象を受けます。

陶山／面接は企業とのコミュニケーションですので、自分の言いたいことを一方的にまくしたり、反対に緊張し過ぎて話せなかったり、というのは困ります。過不足なく、ちゃんとコミュニケーションできるように、練習をしておくこと。敬語も、急にうまく使えるものではないので、徐々に慣れておくことが大切です。

岡田／面接というのは最初の二三分で勝負がつくそうなんです。ですから、その時間帯のトレーニングをすることはとても大事です。それと、むずかしい話をわかりやすく話す練習もお勧めします。例えば、皆さんの勉強しているものではないので、徐々に慣れておくことが大切です。



いることを、おじいちゃんやおばあちゃんに話してみようという方法のひとつです。わかりやすく話すことができれば、面接時はこちらも、仕事についてからも大きな強みになるでしょう。トレーニングを重ね、実戦で自分を磨き、本命の企業の面接に自信をもってのぞむために、早めの就職活動が大事です。

就職協定廃止元年・私たちはこう闘った

体験発表

●発表者

- 石橋さと子さん ◎北海道／函館稜北高校出身
 才野智伸さん ◎埼玉県／春日部共栄高校出身
 林 有作さん ◎北海道／函館大学付属有斗高校出身
 針生英紀さん ◎北海道／函館大学付属有斗高校出身 ◎内定先／株式会社青森銀行（金融）

●まず皆さんの内定先を紹介して下さい。

才野／株式会社長崎屋から内定をいただきました。現在スーパー業界第八位、流通業界第十五位の大手スーパーです。全国採用で、勤務地は未定。とくにどこでなければというこだわりはないので、九州でも海外でも喜んで行くつもりです。

石橋／大手鉄鋼メーカー、日本鋼管の指定加工会社、東京シャリリング株式会社から内定をいただきました。全国規模の企業ですが、私は東京地域限定で採用していただきました。

林／内定をいただいたネグロス電工株式会社は、電線や電気部品のメーカーで、得意先はJR、東京デイズニールランド、新千歳空港などです。全国採用ですが、いずれは東京方面に勤務することになると思います。

針生／地方銀行預金残高二位の株式会社青森銀行から内定をいただきました。青森県のリーディングバンクとしての立場にあり、若手行員の育成に



も力を入れています。

●今年は協定廃止により企業の採用活動が早まったので、学生も早くから動かざるをえなかったようです。皆さんの場合はどうでしたか？ 資料請求の開始時期や件数、回収率、内定先との接触時期などについて教えてください。

針生／私はわりと早く動いた方だと思います。十二月後半から資料請求を始め、一月中旬には、希望六社すべてに出し終わっていました。回収率は百パーセント。内定先には、請求した資料がなかなか届かなかったもので、こちらから人事課に二度ほど電話させていただきました。

林／私は三年の冬休みは遊んでました（笑）。休みが過ぎて驚いたのは、休み前のノンビリした雰囲気ガラッと変わっていたこと。みんな真剣に就職に取り組み始めていて、さすがの私も就職を意識するようになりました。

その頃から資料請求を始めて三十社ほどに出

し、四月の後半までにはほとんどがもどってきました。内定先との最初の接触は、三月下旬のセミナーでした。

才野／私は就職するんだという実感がなかなか湧かなくて、活動を始めたのは三月に入ってからでした。同月下旬に、資生堂が採用試験を行ったというニュースがいきなり飛び込んできて、本州ではもうそこまで進んでいるのかと、正直言ってあせりました。以前から興味があったスーパー業界に的を絞って、「絶対ここに行くんだ」という気持ちで九社に資料請求のハガキを出しました。もどりは五社。内定先には五月の連休に初めて接触し、七月中旬に内定をいただきました。

石橋／私は三月いっぱいまで部活を続けていました。四月になってから資料請求を始めました。二十社ほど出し、もどりは十二、三社でした。内定先には五月に入ってから接触し、七月の中旬に内定をいただきました。

セミナー・面接には
どうのぞむべきか

●セミナー体験談とアドバイスを聞かせ下さい。

才野／ある大手スーパーのセミナーなんです。普通の会社説明会だと思って出席したところ、いきなりグループディスカッションの

試験が行われ、非常に戸惑いました。セミナーは、これはもう試験だと思って行った方がいいと思います。

林／正直に言って三月から四月のセミナーは、場慣れのために出席しました。企業には失礼なんです。今、才野さんが言われたように、セミナーも試験だとなると、初参加が第一志望というのは危険だと思えます。じつさい私もセミナー初参加の時は、不安もあって、雰囲気になれてしまいました。セミナーには場慣れしておくことが大切ですね。

針生／セミナーでは企業の担当者に顔を覚えてもらえるよう、前の方の席に座ることをお勧めします。前から三分の一以内に座らなければ、「希望通りの就職はできない」ぐらいの気合で、希望通りの就職はできない。そして担当者から目を離さずに、メモをとりながら話を聞く。私は大学のガイダンスでこの練習をしました。終了後、企業のパネリストの方に呼び止められ、「もしウチに来る気があるなら連絡を」と声をかけていただきました。意欲が伝わるものなんです。

●面接成功のポイント

針生／第一に会社研究を一生懸命やる。担当者も答えに詰まる、そんな質問が用意できるまで、みっちり研究しておけば、自信をもって受け答えできます。面接当日のポイントとしては、身だしなみに気をつける、笑顔で応対し、動揺は絶対に見せないようにする、声は必要以上に大きく、語尾まではっきり聞かせるように話す。それと一貫性のある答えをするように気をつけて下さい。面接官は、いろいろな角度から質問してきます。自分がしっかりした考えをもっていないと、つじつまが合わなくなってしまうので、事前に準備をしておきましょう。

才野／面接には、単独面接のほかに、四人くらい学生を集めて行う集団面接とグループディスカッションがあります。集団面接では、

強い意志で内定をかちとれ！

●三年生に「これだけはいいたい」ということがあれば。

林／面倒でも、時間が経ちても、自己分析をきちんとやるのが、結局は内定への近道です。それとやっぱり早目に動いた方がいいですね。道外への就職を希望している人は、とくにです。函館は、どうしても情報が遅れがちですから。そうした地理的ハンディをカバーするのに有効なのがインターネット。できれば時間に余裕のあるうちに使えるようになっておいた方がいいと思います。

石橋／女子の方にたくさん言いたいのですが、「絶対に就職するんだ」という強い意志をもって、活動して下さい。面接では、ほとんどの企業から「将来結婚して子供が産まれても仕事を続けませんか」という定番の質問をされましたが、「今は結婚している自分よりも働いている自分の姿がイメージできないの」と答えたら、わかっていただけました。女子の就職は依然としてきびしい状況です。私も女子だからという理由で資料請求の時点で落とされたり、何回となく悔しい思いをしました。でも、落ち込んでいたって、内定は獲得できません。焦りや不安にかられながらも、無我夢中で活動するなか、自分が何をしたいのか、どういう企業に就職したいのか、考えがまとまっていくにつれて、気がついていたら終わ

っていたというのが私の就職活動でした。悩むより行動だと思います。

才野／朝は必ず早起きして下さい。ガイダンスなどで就職課の方に言われていたにもかかわらず、実行しなかったために、私はとんだ失敗をしてしまいました。朝九時きっかりに企業からセミナー案内の電話が入ったんです。授業がないからと熟睡していた私は寝ぼけた声で電話に出してしまい、それが災いして、一番最後の七月のセミナーに回されてしまいました。就職活動を始めたから、ふだんの生活態度をきちんとした方がいいですよ。それに大学にはけっこう企業の人事担当者の方が来てますから、身だしなみやあいさつにも気をつけて下さい。

針生／皆さんの受けた会社は函館大学のOBやOGが在職されていたら、必ず一度あいさつに行き、話を聞くこと。それと困ったことがあったら、ささいなことでも気にせず就職課に相談すること。就職課の方は親切に應對してくれそうです。いけないところは叱ってくれます。指摘されたところを直しながら活動し、結果は必ず報告する。その延長線上に内定は必ずあります！

才野／もうひとつ言わせて下さい。何のために働くかと言えば、親のためでもなく、兄弟のためでもなく、結局は自分のためなんです。会社や勤務地などで、両親と意見がぶつかることもあるかと思いますが、「僕はこうしてものをやりたいんだ。この会社に入りたいたいんだ」と気持ちを強く持って、説得するようにして下さい。自分は絶対できるんだと思えば絶対道は開けます。頑張ってください。

●来年の採用活動はおそらく今年よりも早い時期から始まるだろうと予測されています。一月、二月からセミナーが入ってきたりします。内定も前倒しになると言われています。三年生諸君は先輩からのアドバイスをぜひ参考にしてもらいたいと思います。



針生英紀さん
（函館有斗高等学校出身）



林 有作さん
（函館有斗高等学校出身）



才野智伸さん
（埼玉県春日部高等学校出身）



石橋さと子さん
（函館稜北高等学校出身）

ビジネススマナーと ビジネスエチケット

●専任講師 世良耕一

●右の質問の答えを以下の逸話から考えてみましょう。

それは、ある植民地の原住民の酋長が、その統治国であるヨーロッパのある国の王様の晩餐会に招かれた際に、ヨーロッパのマナーを知らずに手を洗う水をスプーンと間違えて飲んでしまったところ、ヨーロッパの国王もそれに合わせてその水を飲み、晩餐会を成功させたという話です。

この場合、ヨーロッパの国王はマナーを知っているが、故意にそれを犯すことにより酋長に恥をかかせずに済ませ、その場の友好

「ビジネスの相手がビジネススマナーに反してしまったことに気づいた時は、どのように対処すれば良いのでしょうか？」

的な「空気」を保ったこととなります。このような機転をエチケットと呼びます。もしも、ここでヨーロッパの国王がマナーに固執し、その水で手を洗ってはいれば酋長に恥をかかせ、その場の「空気」が非友好的なものになってしまっていたかもしれません。

これは政治の世界の話ですが、ビジネスの世界にも応用できます。山本七平が指摘しているように、日本では、ビジネスが成立するかどうかは、その場の「空気」によるところが大きくなっています。この「空気」をキープするために、ビジネスを成功に導くためには、ビジネススマナーだけでなく、ビジネスエチケ

ットも必要になることを述べていきたいと思っています。

まず、ビジネススマナーの方は、それを知らずに犯してしまうことにより、その場の「空気」に乱れが生じ、ビジネスが成立しにくくなってしまう可能性があります。よって、ビジネススマナーを修得することは、「空気」を乱さないための必要条件ということになります。一方、ビジネスエチケットは、相手がビジネススマナーを犯してしまった場合等「空気」の乱れが生じたときに、ヨーロッパの王様のようにならざるを得ない「空気」を読み、臨機応変に対応し、その乱れを修復するために必要にな

ります。したがって、ビジネススマナーとビジネスエチケットの両者が備わって初めてビジネスが成立する「空気」を演出することができるのです。

ビジネスエチケットは、「相手の気持ちを思いやる心」を磨くことによって身につくのだと思います。昨年来、このような能力を備えた人は、EQの高い人として注目されています。IQが司る「ビジネススマナー」だけでなく、EQが司る「ビジネスエチケット」も念頭に置き行動することがビジネスを成功させる秘訣ではないでしょうか。

ここまで読まれた方は、もう文頭の質問の答えは、お分かりのことと思います。

【ズーム・イン・キャンパス】



学生情報センター

就職活動中の学生が求人票や資料を閲覧するため、頻繁に足を運ぶのがここ。じつに四千社分もの企業ファイルが揃っています。地域別・業種別の探しやすい検索システムになっているので、就職活動中の忙しい学生には、ありがたいところ。面接のコツなどのマニュアルビデオも用意されている。

よりリアルタイムな企業情報を提供するため、近くパソコンとともにインターネットが導入される予定。就職情報発信基地としての機能がさらにパワーアップします。このほか、アルバイトや下宿・アパート、留学、ボランティアなどの情報も提供し、函大生のキャンパスライフをサポートしています。落ち着いた雰囲気なので、講義の合間の息抜き場としても、利用されているようです。時には昼寝を楽しむ豪傑もいるとか。

【委員会だより】

電算委員会から

●電算委員会委員長・助教授 若松裕之

電算委員会では、かねてより学内のパソコンの更新に向けて準備を進めてきましたが、いよいよ今年二月に新しいパソコンが導入される運びになりました。

現在、情報処理室に設置されている教育用パソコン六十二台をはじめ、教員の研究用二十六台、図書館用六台など合わせて約百台のパソコンが、より高性能な機器に入れ替わります。

この更新に伴って、インターネットの利用が可能になります。そこで、

同窓生や企業の採用担当者、あるいは本学への進学を希望している高校生に向けて、本学のホームページを開設し、PRに役立てたいと考えています。

学生諸君のインターネットの利用も自由です。情報処理室は更新後も従来通り常時開放しますので、新しいパソコンをどんどん学習活動に活用してもらいたいと思います。



公開講座だより

平成10年度 函館大学公開講座予定

| 内 容 | 日 時 | 講 師 |
|-------------------------------|-----------|---------|
| 教養文化講演会 | 未定 | 未定 |
| 海外事情講座「フランスについて(仮題)」 | 8月予定 | 田部井助教教授 |
| 教養語学「やさしい英会話講座」 | 7月予定 | 未定 |
| 教養文化「やさしい音声学(仮題)」 | 11月予定 | 田中専任講師 |
| 教養専門「はじめてのパソコン講座(ウィンドウズパソコン)」 | 平成11年2月予定 | 若松助教教授 |
| 教養専門「はじめてのパソコン講座(インターネット)」 | 平成11年2月予定 | 津金講師 |
| 教養専門「はじめてのパソコン講座(表計算)」 | 平成11年2月予定 | 世良専任講師 |
| 教養専門「はじめてのパソコン講座(ワープロ)」 | 平成11年2月予定 | 西村助教教授 |
| 教養文化「古典落語の楽しみ方」 | 12月予定 | 未定 |



●公開講座委員長・助教授 西村 淳

平成九年度は、コンピュータの更新が遅れたために講座の実施に支障をきたしたことをお詫び申し上げます。尚、平成一〇年度も、現在関心の高いウィンドウズやインターネットを含めたパソコン講座を予定しており、公開講座実施段階ではコンピュータが更新されているものと思われま

来年度は、さらに以下のような講座を予定しております。多数のご参加をお待ちしております。

大学祭レポート

学生みんなで作った大学祭

植田英治(4年)
静岡市立高等学校出身

函大祭も今年で三十二回目を迎えました。今年度は十月十八・十九の両日二日間にわたり行われました。特別企画として「THE POSTMEN」のライブコンサートを二六二教室で行いました。ここ数年、函大祭ではコンサートを行っておりませんでした。なので、準備や運営の仕方を知る者もなく大変苦労しましたが、大学祭実行委員会の仲間と力を合わせて作り上げていくのはとてもうれしく、充実感を味わうことができました。コンサート当日、会場には百三十人、百五十人のお客様。ライブの経験の少ないバンドでしたのでちよつとしたハプニングもありましたが、お客様が楽しんでくださっているのを見るのは、企画・準備・運営をした者にとって大きな感激でした。

屋外では、各団体が出店した模擬店、例年来場してくださるお客様から好評をいただいている野菜の即売会、特設ステージにおいては軽音楽部によるコンサート、その他の各種企画が行われ盛り上がりしていました。模擬店にはみんなが積極的に参加してくれたので、運営側としてもうれしい限りでした。

学園祭には、函大の学生が何を考え何をしているのかを学外の人に知ってもらい意味があります。さまざまな人とふれあうこともできますから、来年度はさらにたくさんの方の参加を実現させて盛り上がり、意義深いものにしていきたいと思います。



模擬店



THE POSTMENのステージ



植田英治君

設計から組立まで
LSIを一貫生産

日立北海セミコンダクタは、日立グループの半導体メーカーで、創業は昭和四十五年。函館市中心部から車で約四十分の「テクノポリス函館」地区と千歳、相模の三カ所に工場を置き、各種LSI（大規模集積回路）、超LSIを量産しています。とくに函館工場の超薄型・超多ピン製品の製造技術は海外でも高く評価されています。

巨大ロケットからミニ電卓まで、今やLSIは、ありとあらゆる機器に搭載されるようになりまし。

「使用機器の高度化、多様化により、LSIには、さらなる高集積化、微細化、少量多品

日立北海セミコンダクタ株式会社



種化が求められていて、これらのニーズを先取りした製品づくりを行うため、技術力に日々磨きをかけています」と鈴木茂社長。



取締役社長
鈴木 茂

北海道から世界へ

鈴木社長は、日立製作所勤務を経て同社に。函館での生活はもう十年になります。

「函館は閑静で、過ごし易い気候。レクリエーション施設が充実しているなど、技術開発のための好条件が揃っていますね」

同社の技術を支えるエンジニアのほとんどが北海道出身。函館大卒業生四人も経理、資材部門等で活躍しています。

社内で行くのが、オフィスや応接室の案内板の英語表記。日立製作所の得意先の海外機器メーカーが、同社の半導体の製造工程や品質管理体制をチェックするため、しばしば訪れるとのこと。工場では、常に世界を意識した製品づくりが行われています。

「半導体業界も、コストを削減するために生産拠点の海外移転が進んでいます。グローバルな市場で優位に立つため、エンジニアリングの力をさらに強化していきたいと思っています」

同社製品の大部分は日立製作所向けですが、技術力の向上を目的に、海外への直販にも取り組んでいます。北海道に根ざしつつ、同社の視線は世界へと向かっています。

函館見晴公園

教授 上平幸好

昨年七月に、見晴公園をテーマとした記録写真集を上梓しました。この公園を私の推薦する散歩の場として紹介しています。

函館大学のすぐ傍にある公園なので、学生の皆さんは良く利用しており、何をいまさらなどとお思いの人もいらっしゃるが、この公園の持つ価値を理解している人は少ないように見受けられますので、この機会に少し紹介させていただきます。

「三ヘクタールあまりの「香雪園」と称される日本庭園が公園の中心になっています。その作庭の歴史は北海道にあつては古く明治末のことです。数回手直しされてはいるのですが、庭の基本的構成要素である建築物と生垣などの配置は大きく変わることはなく、よく保存されて今に至ります。

樹木の本数も、また種類も多いため植物園の機能も持ち合わせており、道外の名のある庭園とはまた違った趣があります。当然のことながら観察できる小鳥の数も多く、現在ではバードウォッチングのできる公園として市民に知られてきました。桜や楓・柏の仲間が多いので、天気の良い日には森林浴もできる芳しい公園でもあります。年配の方々比較的よく訪れていて、人生を忙しく過ごしてきた人々の憩いと思索の場となっています。



詳しいことは二四〇頁余りのオールカラー本、「香雪園の四季と樹木」を大学図書館に用意しましたので、一度目を通されて感想をお聞かせ願えればと思っています。

私の函館散歩

函館のWestside散歩

2年 大谷隆夫（神戸国際大学附属高校出身）



北海道では松前・江差と並んで歴史の古い函館には、名所旧跡が多い。中でも江戸末期の開港による外国文明の流入や、北洋の豊かな水産資源を背景として漁業基地となった西部には、当時の栄華を偲ぶことのできる建造物が数多く残されている。その中に、明治の末に建てられた赤レンガ作りの倉庫群がある。私は時折、その辺りを散歩する。

港町函館を象徴するかのようには立ち並ぶこの倉庫群のレンガの壁に、係留されたヨットの帆柱が秋の夕日の影を長く伸ばしている風情が私の心をとらえる。国際関係の歴史的な流れや、産業構造の変革とともに昔は物流の中心として活気を呈した岸壁沿いの倉庫群は、その機能を失い衰退の一途を辿り、取り壊される運命にさらされていたと言ふ。それが、観光ブームと歴史的遺産を保護しようという機運の高まりで再開されることとなり、新しい命が与えられ、いまでは函館随一の観光スポットとなっている。

函館駅をスタートするとすぐ隣には函館シーポートプラザがあり、かつて津軽海峡の女王と呼ばれた摩周丸がメモリアルシップとして往時の面影を偲ばせてくれる。シーポートプラザの中では地ビールを楽しむことができる。そこを出て朝市を喧騒を通り抜けたと金森倉庫、旧日通倉庫の赤レンガ倉庫群と続く。倉庫内部は屈強な木柱で支えられ、土産品やレストランが並び観光客で賑わう。しかし、私は中の賑わいよりも夕日を浴びた倉庫群を外から観るのが好きだ。サンフランシスコのフィッシャーマンズ・ワーフを連想させるこの、Westside函館が大好きである。

金融マンをめざす学生諸君へ

商学の大学である本学には金融マン志望の学生が少なくないと思います。現役銀行員として、そういう学生諸君に何かアドバイスしたいと思っています。

第一に明確な志望動機を持ちなさいということ。日本版ビッグバンにより自由競争時代を迎えた日本の金融界。各金融機関は、国内・国際競争に勝ち残るため、必死になって得意分野を強化し、それぞれの特色を打ち出そうとしています。そこで求められるのが専門的な能力。志望する際にも、「どこでもいいから金融機関で働きたい」という漠然とした動機ではなく、「外為をやりたい」「ディーリングをやりたい」「地元の有望企業を発掘してベンチャー企業として育てたい」な

どの明確な目的意識をもち、それに合った金融機関を選択し、志望してほしいと思います。

当みちのく銀行には、サハリンで活躍している女性行員がいます。彼女は四国の出身ですが、就職活動中に当行がロシアでの業務開始を計画しているという情報をつかみ、得意なロシア語を生かして銀行業務をやってみたいと志望してきています。彼女のようスムーズに自分の目的が叶うとは限りませんが、目的意識のある人と、単なる安定志向の人とは、仕事をしていくうちに、時間の経過とともに大きな差が出てくると思います。第二に、これからは国際化時代ですから外国語はできた方がいいですね。

若い頃に自分に投資しよう

金融業務には人間性が問われます。例えば銀行の融資。企業の成長性を判断する上でのポイントのひとつが、経営者の人間的な器。それを測れるだけの人間性が金融マンには求められます。

ですから第三に、豊かな人間性を築いてほしい。そのために学内の人だけでなく、違う世界の人も積極的に交流して、いろいろなことを体験し、また、小説などの書物に親しんで経験の幅を広げてほしいと思います。

もうひとつお勧めしたいのが海外への旅。私は若いころは経済的余裕がなかったのですが、この年齢になった今、多少無理し



みちのく銀行
取締役秘書室長
非常勤講師
桜田清光

最近では青少年期の心身症や神経症が増える傾向にあります。私どものところにも登校拒否や受験前の緊張症などさまざまな悩みを持ち込む学生さんやOL、サラリーマンの方が増えています。ストレスには色もにおいもありません。それだけに見過ごされがちですが、日ごろから解消されないストレスをため込まないよう「よいストレス」で心身をリフレッシュすることに努めましょう。



医療法人社団
函館神経内科院長
社会福祉法人
函館筑峰会理事長
富田邦義

健康講座

HEALTH

「メンタルヘルス」という言葉を耳にされたことがあると思います。「精神保健」とでも訳せまじょうか。現代は「この時代の」と言われています。価値観が、時代とともに「物質的な価値」から「精神的な価値」「こころの健康」を大切にしようという方向に変わってきています。しかし一方で、社会の情報化、複雑化、管理化などによって私たちの「こころ」と「からだ」は「ストレス」という目に見えない圧力に晒されているのです。

「ストレス」というとよく悪いものというイメージがありますが、よいストレスもあります。娯楽や趣味、アルコールなどの嗜好品も適度であれば「よいストレス」として「こころ」と「からだ」に好ましい刺激を与えます。「メンタルヘルス」は「こころの健康」だけではなく「からだの健康」にも深い関わりがあります。

それでは、うまくストレスが解消されないことのような影響があるのでしょうか。ストレスを受けるといろいろなホルモンが分泌され、内臓が刺激されます。その結果脈拍が速くなり、血圧が上がり、血液の中の糖分も上昇します。これは防衛反応。戦えばエネルギーが消費されて問題は解決しますが、我慢したり、次々にストレスに晒され続けると反応が元に戻らなくなつて、高血圧、糖尿病、肥満、心臓病、消化器疾患など全身に影響を与え、「心身症」の原因となります。さらには、くも膜下出血や心筋梗塞などの原因になる場合もあります。同様の影響が精神面に強く出ると神経症、抑うつ状態、

教養講座

CULTURE

心がけたい、日ごろからのメンタルヘルス

学友会活動報告

学生たちの手でより良い学生生活を目指す組織「学友会」。その最近の活動状況を報告します。

●【主な活動】

●リーダー研修会を開催
秋は、各クラブと学友会の執行部交代期。新役員の顔合わせと研修を目的に、十一月二十九日、学内でリーダー研修会を行いました。リーダーの果たすべき役割について、討論会などを通して理解を深めました。

●文化系クラブ紹介の冊子を発行
文化系十五クラブのそれぞれがどんな活動をしているのか、学生に広く知って



もらうため、活動内容をまとめた冊子を発行しました。部員によるエッセイも収録しています。

●キャラクターグッズを企画
学生同士の連帯感を深める一助になればと、制作したマスコットキャラクター「カンペー」。

●これを使ったシールやキーホルダー、Tシャツなどのオリジナルグッズを企画中です。

【新役員紹介】

●総務局長／今野博一君（二年）
山形市立商業高校
クラブの活性化をバックアップするとともに、クラブ間の交流を促し、学内全体を盛り上げていきたいと思っています。

●体育局長／伊藤隆一君（一年）
三重県私立鈴鹿高校
一年で局長という重要な仕事を任せられ、



プレッシャーを感じていますが、先輩たちのアドバイスのおかげで、精一杯頑張りたいと思っています。

●文化局長／八木健児君（一年）
札幌篠路高校
先輩たちに学んだことを生かし、それに応えられるよう努力するつもりです。

(敬称略)

クラブ戦績

- 硬式野球部
 - 北海道六大学野球秋季リーグ戦(入れ替え戦)
 - 平成九年一〇月一〇日～一二日 (旭川市・愛別町)
 - 二勝一敗 一部リーグ残留
 - 平成九年度第一九回東日本学生ハンドボール選手権大会
 - 平成九年八月七日～八日(秋田県)
 - 予選リーグ二位
 - 全日本インカレ出場権獲得
 - 平成九年度第二九回北海道学生ハンドボール秋季リーグ
 - 平成九年一〇月七日～一二日(室蘭市)
 - 五戦全勝 一部リーグ優勝
 - (百十連勝)二十連覇(三十二度目の優勝)
 - 最優秀選手／石川浩之(四年)
 - 優秀選手／進藤祐一(三年)／碩谷洋介(三年)／戸澤誠一(三年)／奥野 誠(三年)
 - 得点王／進藤祐一(三年)
 - 平成九年度全日本学生ハンドボール選手権大会
 - 平成九年一二月二日～一二月六日(横浜市)
 - ベスト16
 - 軟式野球部
 - 全道学生ソフトテニス選手権大会
 - 平成九年六月二日～一六日(札幌市)
 - 団体Aチーム ベスト8
 - 団体Bチーム ベスト8
 - ソフトテニス部
 - ソフトテニス新人選手権大会
 - 平成九年一〇月一日～五日(札幌市)
 - 団体Aチーム 優勝
 - バレーボール部
 - D沼澤 徹(二年)・大野心平(一年) ベスト8
 - D阿部清彦(二年)・向後圭介(二年) ベスト8
 - D吉澤和彦(二年)・久根木誠(二年) ベスト8
 - 羽根球部
 - 一九九七年度北海道学生バドミントン秋季リーグ大会
 - 平成九年一〇月二日～四日(江別市)
 - 団体／四戦全勝 男子一部リーグ 優勝
 - 第四八回全日本学生バドミントン選手権大会
 - 平成九年一〇月二日～一六日(広島市)
 - 第四回全道学生会長杯争奪選手権
 - 平成九年一二月二日～一六日(滝川市)
 - S三上直也(二年)第三位
 - D松本 譲(二年)・三上直也(二年) 優勝
 - バスケットボール部
 - 第四七回北海道学生バスケットボール春季選手権大会
 - 平成九年六月二日～一五日(北見市)
 - ベスト8
 - 剣道部
 - 第四四回北海道地区大学体育大会
 - 平成九年七月一三日(旭川市)
 - 団体／第三位
 - 第三五回北海道学生剣道新人大会
 - 平成九年一〇月二五日～二六日(札幌市)
 - 団体戦優勝
 - バドミントン部
 - 第四七回北海道学生バスケットボール春季選手権大会
 - 平成九年六月二日～一五日(北見市)
 - ベスト8
 - 卓球部
 - 平成九年度全日本大学対抗卓球大会北海道予選
 - 平成九年六月二日～二日(滝川市)
 - 団体／準優勝 全国大会出場権獲得
 - 平成九年度秋季全道学生卓球選手権大会
 - 平成九年一〇月三日～五日(深川市)
 - 団体／二部リーグ 優勝 一部昇格
 - 陸上部
 - 第三〇回道南陸上競技選手権大会
 - 平成九年七月九日～一〇日(八雲町)
 - 走り幅跳び 土門貴之(三年)第二位
 - 硬式陸球部
 - 北海道選抜対東北選抜対抗試合(選抜出場)
 - 平成九年九月四日～五日(札幌市)
 - D尾村 哲(三年)・古川雄亮(三年) 勝利
 - 北海道学生テニス選手権大会
 - 平成九年一〇月七日～一六日(札幌市)
 - D尾村 哲(三年)・古川雄亮(三年) 第二位
 - ボウリング部
 - 第二九回東北学生秋季リーグ戦
 - 平成九年一〇月二日～一二月九日(山形市)
 - 優勝／全日本学生ボウリング選手権大会出場権獲得
 - 第二九回東日本学生ボウリング選手権大会
 - 平成九年八月一七日～二〇月九日(名古屋屋市)
 - 五人チーム戦 五位入賞

ESSAY

東京サラリーマン体験記

●助教授 西村 淳



私は、高校時代まで神戸、大学と大学院時代筑波で生活をおくっていました。生来の出不精で、東京は通過点ぐらいでしかなかったために、そこで仕事をし生活するとなると大きな抵抗がありました。神戸も筑波も自然に恵まれた街で、逆に東京は、ビルや住宅が見渡す限り広がっていて、その光景を想像するだけでも不安感が起こったものでした。しかし、博士課程を中途退学ともなると会社を選ぶ立場ではありません。それで、私の東京でのサラリーマン生活が始まったわけです。

私は、財団法人日本不動産研究所のシステム開発部システム分析室に配属となりました。普通なら入社と言うのですが、この場合は「入所」と呼ぶのでしょうか。日本不動産研究所は、不動産の鑑定を専門とする企業で、システム開発部は、不動産関係のコンサル業務を行っていました。

住まいは、豊島区駒込の木造賃貸アパート「青葉荘」でした。部屋は、六畳と三畳と流しとトイレで、風呂はついていませんでした。建物の構造にお金をかけていないためか、一階の洗濯屋さんの機械が動き出すと、建物全体がゆらゆらと揺れるありさまでした。一番の心配は、本で、その重みで床が抜けるのではないかと心配しました。青葉荘の前には民営化前の国鉄のアパートがあって、そこには大きな木が植えられていて、畳に寝転がって窓から外を眺めると、これらの木々しか見え

ず、寝静まった夜には、木の葉が風に吹かれてこすれ合う音が聞こえず、小さな自然を堪能していました。

システム分析室では、主に、地方自治体の固定資産税の算定資料の作成をしていました。簡単に言いますと、土地ごとに固定資産の評価額を求める仕事です。いくら小さな自治体でも、土地の区画は万単位に存在しますから、大変な作業です。どんなコンサル業務もおなじなのではないですが、毎日のように残業があり、土日に出勤したり会社に泊まって仕事をすることもありです。

深夜までの残業でこたえるのは、銭湯の閉店以降の帰宅となる風呂に入れないことでした。そういう時は、流しで頭を洗い、濡れた手ぬぐいで体を拭いたものでした。はつきりいつてストレスのたまる生活ですが、息抜きは昼休みの読書と、風呂上がりのビール、そして同僚との会話でした。職場に、刑法を読むのを趣味としている人がいて、それにならって自分も専門書を片手に、文部省の喫茶、郵政省のロビー等に出かけ、専門書を批判的に読書していました。仕事に疲れたときは、会社の図書室の死角になるところで昼寝をするのも先輩同僚から習いました。よく、上司や仕事への不満を同僚と話しましたが、どこの職場も同じようで、飲み屋さんや飯屋で聞かえてくる会話は、似たような内容でした。

大学院時代、草野球をやっていたことから、会社の軟式野球部に勧誘され、プレイすると同時にマネージャーの仕事も任せられました。試合をするために自分のチームのメンバーに出場を依頼したり、総務課から試合後の打ち上げの費用を多く捻出させるのに頭を使ったり苦労しておりました。仕事を変わった今も、大変さは変わらないよう

函館食べ歩き

BEELONG'S

港町の風情と地ビールを味わえる 函館ならではのレストラン



かつての青函連絡船、メモリアルシップ摩固丸が横付けされている人気観光スポット、シーポートプラザの一階に昨年春オープンしました。「船のそばにある地ビールのレストラン」として函館市民にはもうすっかりおなじみです。

このお店で何といってもうれしいのは、四タイプもの地ビールが味わえること。ライトな味わいのパール・エール、フルーティな香りのヴァイツェン、しっかりした飲み応えのブラウンエール、季節限定ビールと、女性からビール



左から松本彩香さん、小野寺亜弓さん、小野梢さん

ル通まで満足できるタイプ設定になっています。飲み比べも楽しいですよ。

地ビールの美味しさを引き立てるのが、北海道函館ならではの素材が生きた料理の数々。どれもおすすめです。が、「シーフードサラダ」「いかの炭焼き函館風」などの新鮮な魚介類を使ったメニューは、ぜひ味わっていただきたいところ。

日本一の長さというホールは全長八十四mで、広々とした雰囲気。このほかに十人以上の団体客用のパーティールームがあり、予算に応じてメニューを用意してもらえます。お寿司や鍋物もOKとのこと。少人数で静かに語り合いたいという時のためのお洒落なバブスペースもあります。

ゆったりくつろげる空間と美味しい地ビール。家族や仲間と楽しい時間を過ごす時に、ぜひおすすめしたいレストランです。

函館市若松町十二番十九号
TEL 0138(2)6・1122

蝦夷謡歌広告研究部 友達づくりのイベントを開催

ごつついクラブ名ですが、活動内容は意外にやわらかめ。新入生歓迎コンパや花見会、パーティーなどのイベントを企画し、開催しています。部員数は二十人。

「大学生活って友達が多いか少ないかで面白さがすごく違ってくると思うんです。僕たちの手がけたイベントで、友達を増やしてもらえたらうれしい」と横田和伸君。

毎年冬休み前に金沢ホールで開くクリスマスパーティーは、函大生はもちろん、他大学の学生や同世代の社会人など三百人を集める規模の大きなもの。参加者いかに楽しんでもらうかが部員たちの腕の見せどころ。ゲームや演出に工夫を凝らします。

当日は司会や飲み物のサービスなどで大忙し。あくまで裏方に徹します。

「皆さんに喜んでもらうことが、僕らの喜びですから（笑）。やり遂げた後の充実感も何とも言えません」と萩原桂太郎君。

部員たちはパーティー後の二次会で、大いに盛り上がるそうです。



横田和伸君(右)東京・足立学園出身・3年次
萩原桂太郎君(左)日立北高校出身・3年次

ボウリング部 ボウリングで自分を鍛える

道内の大学では函館大学だけにあるボウリング部。部員数は二十人。九十八年度は東北学生選手権大会で五人チーム戦・二人チーム戦とも優勝。東日本学生選手権大会五人チーム戦で五位入賞という好成績を上げました。

練習は週二回、午後八時から二時間、函館市内のボウリング場で行っています。



全日本ベスト8という当面の目標に向かい、真剣な表情で投球練習に取り組み部員たち。レーンには緊張感が漂っています。「ある程度までのスコアでしたら、技術だけで上げられますが、それ以上となると、精神的な強さが必要。技と心の両面が問われるスポーツで、そこが魅力です」と小橋宏君(京都・京都府立第一高校出身・1年次)。ティーンエイジャーの大会で全国優勝した経験をもつ期待の新人です。

キャプテンの岩本利典君(函館有斗高校出身・3年次)も、「競技としてのボウリングは厳しい。最終的には自分との戦いだから。けっころ鍛えられますね」。

ボウリングを通して、自分を成長させることとの面白さを感じているようです。

基礎スキー部 「美しいスキー」を追求

スピードよりもフォームの美しさなどの技術を競う基礎スキーのクラブです。部員数は十四人。昨シーズンは、北海道学生選手権で個人総合五位というのが主だった成績でした。

団体戦でも上位に食い込むことが、もっかの目標。部全体のレベルアップを図ろうと、一年を通してトレーニングに励んでいます。

夏期は筋力・持久力アップのための球技やランニング、冬期は近くの横津岳スキー場で上級者によるレッスン形式の練習を行っています。

「基礎スキーをまったくやったことのない人でも、うちの部で三年間みっちり練習したら一級をとれます」と、主将の池上堅太郎君と主務の高橋元君は口を揃えます。

トレーニングの質と量に自信があるからこそ言えること。美しいスキーさばきの裏には地道な努力が必要なんですね。



池上堅太郎君(左)埼玉武蔵越谷高等学校出身・3年次
高橋元君(右)函館商業高等学校出身・3年次

JAZZ研究同好会 僕たちの熱いライブを聴いて下さい

「音で対話できるのが楽しい」「感情を表現しやすい」「自由なところがいい」。和氣あいあいとした雰囲気の中、ジャズの魅力について語るメンバーたち。

会員数は十五人。楽器は半数以上が初心者とのことですが、お互いの呼吸はピッタリ合っているようです。



週に二回、学内で練習。その成果を函館市内のライブハウス「家畜人」で年に数回、披露しています。十八番は「バードランドの子守歌」。函館短大生の女性ボーカルを交えての「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」も評判が良いそうです。

「いい演奏が出来た時のお客様の拍手は本当にうれしい。みんなで一生懸命練習して、レパートリーを増やしていきたい。できれば演奏会の回数も、もっと増やして、たくさんの人に僕たちの演奏を聴いてもらいたい」と小林洋貴さん(山形・羽黒高校出身・2年次)。ぜひ一度ライブハウスに聴きに行ってみよう。

野又学園プロフィール

函館短期大学付属幼稚園 心の芽を伸ばす



今年、創立三十周年を迎えた函館短期大学付属幼稚園は、閑静な住宅街にあり、地域の幼稚園として親しまれています。三歳〜五歳までの保育

のほか、預かり保育も行っています。

「心の教育」が求められている昨今。人間形成の土台づくりを行う幼児教育は、ますます重要なものになってきました。

同園では以前から、心を育てるための様々な教育活動を行っています。そのひとつが小動物の飼育活動です。

「鶏や兎を飼うなかで、子供たちはたくさんのお話を学び、生み出しています。温かさは、中学生になった今も忘れられない」と言ってくれた卒業生もいます。この感動は、たま



に遊びに熱中します。船をイメージした大きな遊具は木製。冬でも凍てつかず、あたたかな手触りなので、楽しく遊べます。

「幼児は遊びで育つんです。遊びによって体がつくれ、自主性、社会性、創造性、集中力など人生に必要な力が

ごつちでは決して味わえません。血の通った本物の生き物との、ふれあひならではのものです」と村上歌子園長。

「幼児の心の中には、やさしさやいつくしみといった良い芽がたくさんあるんです。飼育活動を通して、それらをしっかりと伸ばしておきたい。生と死についてもきちんと教えておきたいと思っています」

園児がともに育ち合う環境づくりを

朝、元気よく歩いて登園してきた園児を教諭が笑顔でやさしく迎え入れます。今はスクールバスを使う幼稚園が多くなっていますが、同園は徒歩通園には足を鍛え、親子の会話を促し、交通安全の意識を養うなどのバスでは得がたい教育効果がある考え、これを続けています。

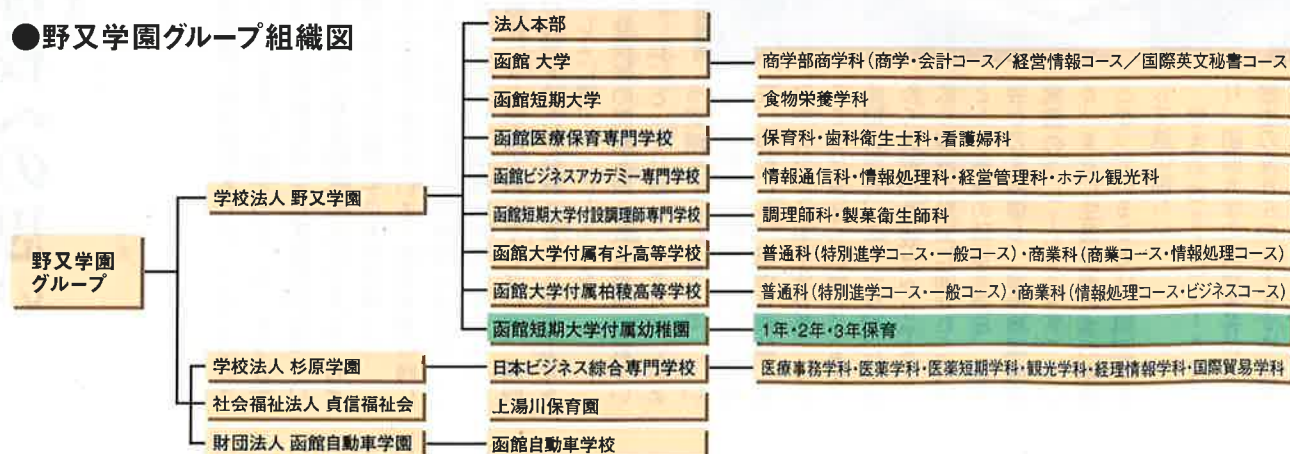
園児たちはすぐに園庭に出て、思い思いの遊びに熱中します。



村上歌子園長

函館市柏木町7番26号
TEL(0138) 51・2757

●野又学園グループ組織図





これからの協学会がめざすこと

●函館大学協学会会長
(函館三菱ふそう自動車販売株式会社取締役社長)
山村 幸生

私は、前会長の川越耕吉様の後任として、本年度より会長に就任させていただきました。川越前会長は、永年にわたり卓越した指導力を発揮され、協学会発展のためにご尽力をされて参りました。そのご苦勞に対し、衷心より敬意を表します。

特に私は、川越前会長より直接ご指導を賜り大変お世話になりました。いつも大変明るく責任感の強い方で、ユニークでユーモアのある楽しいスピーチをされ私にも多くの感動を与えていただき、心から感謝を申し上げますとともに、ますますのご健勝をお祈り申し上げます。

さて私の会長就任の抱負を簡単に申し上げ、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。第一は、大学と学生のご父母のパイプ役として積極的に役割を果たして参りたいと思います。皆様の声に謙虚に耳を傾け、「グッドコミュニケーション」「クイックレスポンス」を図り、協学会の目的達成のために努力して参ります。

第二は、学生がいつも明るくくびのびと勉学やクラブ活動に励まれ、創造性豊かな人材として成長できますよう大学にお願いをして参ります。現在、経済環境はきわめて厳しい状況にございますが、楽しい学生生活をおくりより活力のある学生となるよう期待してやみません。

以上、所信の一端を申し述べご挨拶いたします。

同窓生を訪ねて

学生時代の思い出と母校への思い

●函館市立石崎小学校教頭 志津野 直文(第二回卒業生)

私が大学を卒業したのは昭和四十五年であるからもう二十八年も前になる。電停から学校までは遠く、舗装されていない道路で雨や吹雪の日などは中間地点にある高専の学生がうらやましかった。

大学の二年までは教養科目が多く、難しかったが内容がもしろく、いつのまにか授業に引き込まれていた。また、自分で席を選べることもうれしかった。当時は人間味あふれる年配の教授と大学院などを卒業したばかりの熱意と使命感に燃えた若い先生方が多かった。教養科目ではかなり苦労したが、その割には身についていない。短期間で教養が身につくはずもない。

専門科目の多くなった三、四年生ころにはテスト近くになるとノートは何度も読み返しテキストは隅々まで読んで全部覚え、テストに臨んだ。図書館によく通ったのもこのころである。高校時代あまり勉強しなかった私にとって一番勉強した時代でもあった。変化の激しい時代ではあるが、学生にとってやはり勉強することは不易なことであろう。無論、青春真っただ中の学生に勉強だけとやばなことを言うつもりはない。

「きみとよくこの店に来たものさ」とガロのメロディが流れていたころ、私も早朝から泊まりがけのバイトもしたし、お



金を貯めては友達と貧乏旅行もした。このころのメンバーとはいまでも年に一度会っている。もう五十歳のおじさんであるが飲むほどに学生時代に戻っていく。翌日の疲れ具合は学生時代の比ではないが、皆それぞれの職場でバリバリ活躍しているのが嬉しい。

現在、私は小学校に勤めている。教育実習の時に授業以外にもよく子供たちと休み時間に遊んだ。この子供たちとの触れ合いが教職へのきっかけになった。現在は教頭になり学級を持つていないが、週四時間の習字の時間を持ち、昼休みなどに子どもたちと今でもいっしょに遊ぶようにしている。

いじめ・不登校等の問題を抱え教育現場は厳しいと言われるが、私にとってはたいへんやりがいのある素晴らしい仕事と思っている。国際化の時代と言われる現在、母校にも、道内は無論、道外や海外からも学生が集まっていることは喜ばしい限りである。函館大学が、二十一世紀に羽ばたく人材の育成ばかりでなく、広く地域・社会に開かれた大学として各種の研修会講座、講演会などを開催し、道南地域経済発展のブレーンともなっている。まさに生涯学習社会の拠点となっていくことは、同窓生として誠に嬉しい。

学生の皆さんにエールを送り、函館大学の関係者各位と同窓生の皆さんのますますの発展を願って終わりたい。

投稿コーナー●百葉箱



大丈夫……大嶋 隆(函館大学教授)

むかしも手首のところで脈を見た。このことを語っているのが「寸」の字である。寸は又(手)を一指で押さえているさまを示したものである。脈を計る脈口を「寸口」と呼んだ。寸(スン・ソン)は脈搏をはかるという語である。外から内の心をおしはかる事を「付度」という。この指一本の(おさえる)幅が一寸である。両手十指を並べれば十寸になる。

「尺取り虫」(セキカウ)の動作よろしく手指を用いて長さををはかるさまを表しているのが「尺」の字である。上の部分は肘の形で、下部の一方は親指、他方は四指を合わせた形である。この尺取りする手指の幅を尺の単位とした。両手十指を並べた幅は手尺の幅に相当する。

手で尺をはかるのになぞらえて虫にも名付けたものであり、別に屈伸虫の名もあったが、人間はこの虫からも情報を引き出した。「尺蠖」の屈するは信んことを求むればなり(「易経」)。成功せんがためには忍耐あるべしと。尺蠖は尺の音を二語に長言したものである。「鳳」(おおとり=鵬)を「鳳凰」とも言い、「易」(易=とかけ)を「蜥蜴」と長言するのと同じように。昔、テレビで中央アジアの市場で岩塩の塊を尺取りしてはかっている光景を見て興を覚えたことがある。

「丈」は十尺である。丈の古い字形は上図のように「十」と「又」とから成っている。手を使って尺をはかったのであるから、この場合の又は尺を意味している。成人男子の背丈は十尺に相当する。そこで寸・尺・丈の長さの単位に十進法が持ち込まれることになったのである。

「夫」は、大に一を加えた字であって、もともと冠をつけた成年男子を表したものであるが、十尺=一丈の一人前の成年男子ということで「丈夫」と呼ばれることになった。さらに大の字を加えて、堂々と立派な男、という意を強調して「大丈夫」の語も生まれた。なお、「丈夫」(強い・健康だ)及び「大丈夫」(確実だ・間違いない)というのは、我が国でのバリエーションである。

なお、今日の尺の長さは三〇・三センチ(日本)であるが、中国古代(周)のそれは、手尺の幅の通り、二〇センチほどであった。また、文字としてはもちろん、コトバ(発音)としては違いが、「て」という意味を示す記号として使われる場合は、「寸」、「又」(みぎて=右の原字)と「手」=五本の指を広げたさま(は、同じものとして通用された。

戦前の義務教育を受けた者には特別な響きを持つ「尋常」も長さの単位である。「尋」は

八尺である。両肘を横に伸ばして左右の手を広げたときの両手の長さである。我が国では「ひろ」と称している。司(右)と言(左)との組み合わせに、さらに「シ」(サン・シン=伸)の音符を加えた字である。ヒモなどをはかるときの方法であり、甲骨文字では上のように書かれている。そこで尋には「ハカル・タズネル」の意が生じた。

また、「尋」を単位とする「常」も生じた。「尋常」は長さの単位であるから、「基本・普通」の意が生じた。

若い頃の私の周囲には、教育を受ける機会に恵まれず、全く文字を解しない人達がわずかながら存在した。そして、モノサシを全く用いることなく手の寸法だけで着物を縫い上げる女性もいたことも、そのことと共に鮮明に憶えている。現在の私のまわりには、義務教育のことなど問題にもならぬ高等教育を享受している多くの「丈夫」がいるが、大丈夫かなあ。

●玉稿をお寄せいただき、まことにありがとうございます。誠にありがとうございました。誌面の制約上、全てを掲載できないことをご了承ください。

●第七号へも、ふるってご投稿ください。

●尚、掲載作品については、薄謝を呈させていただきます。